

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
国語	論理国語	2	選択履修	R5・2	全 HR
使用教科書	三省堂「精選 論理国語」(論国 703)				
副教材	イラストとネットワーキングで覚える現代文単語げんたん 改訂版 (いいずな書店) 進研WINステップ Core 国語 2 論理的文章・実用的文章編 [新課程版] (株式会社ラーンズ) 改訂版 評論速読トレーニング 1500 (数研出版)				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 学習方法

- ①予習や課題提出を常に100%行う。
- ②一年次に身に付けた知識や読解力を生かしながら、日々の授業を中心に主体的に学習に取り組む。
- ③知見の異なる様々な文章を読むことで、多角的なものの見方や考え方を着実に身に付けていく。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
他者と関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能について身に付けることができるようしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学 期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む 姿勢
1 学 期	4 月	「論理と思考力」	・「論理的」な文章の効果的な組み立て方、接続の仕方について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら筆者の考えを把握している。	・進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、「論理力」と「思考力」との関係などについて説明したり話し合ったりしようとしている。
	5 月	「学びを広げる 中身当てクイズ」	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。	・与えられた情報の内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。	・クイズを通して進んで情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉え、筋道を立てて説明しようとしている。
	5 月	「ぬくみ」	・本文の構成や展開、例示など論証の工夫について理解を深めている。	・社会的な話題について書かれた文章を読み、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで筆者の考え方を理解し、現代における「相互性」や「他者への想像力」の大切さについて自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。
	5 月	「世代間倫理とし ての環境倫理学」	・例示を用いた効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・筆者の考える現代の中心的な課題について理解するために、文章の内容や構成を的確に捉えている。	・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、環境問題において未来世代への責任を果たすためにできることを考えようとしている。

6月	「学びを広げる 環境問題について 考える」 〔資料〕「企業の社 会的責任(CSR)に ついて」	・資料を参考に、与えられた情報 について理解を深めている。	・環境問題について、 文章の内容や解釈を多 様な論点や異なる価値 観と結び付けて、新た な観点から自分の考え を深めている。	・学習課題に沿 って、関心をも った事柄につい て様々な資料を 調べ、その成果 を発表したり報 告書や短い論文 などにまとめよ うとしたりして いる。
	「病と科学」	・接続詞などに着目しながら、段 落同士の関係性など文章の構成や 展開の仕方について理解を深めて いる。	・筆者の主張の筋道を 捉え、文章の要旨を把握 している。	・進んで筆者の 考えについて理 解を深め、身近 な存在である医 療や科学とど のように向き合 べきか考え、ま とめようとして いる。
	「学びを広げる 生命について考 える」 〔資料〕「iPS細胞 と生命倫理」	・情報を重要度や抽象度などによ って階層化して整理する方法につ いて理解を深め、用いている。	・文章全体の論理の明 晰さを確かめ、自分 の主張が的確に伝わる文 章になるよう工夫して いる。	・与えられた課題 文の内容につい て整理しながら 理解を深め、自 分の考えを論述 しようとしている。
9月 2学期	「ミロのヴィーナ ス」	・対比、逆説、比喩などの表現技 法に着目し、主張とその前提や反 証など情報と情報との関係につい て理解を深めている。	・表現上の工夫とその 効果について理解しな がら、筆者の考えを分 かりやすく説明して いる。	・進んで筆者の 考える美につい ての発想を理解 し、多面的・多角 的な視点をもつて 物事を考えよ うとしている。
	「学びを広げる 美術作品を紹介し よう」	・文章の種類に基づく効果的な段 落の構造や論の形式など、文章の 構成や展開の仕方について理解を 深めている。	・立場の異なる読み手 を説得するために、批 判的に読まれることを 想定して、効果的な文 章の構成や論理の展開 を工夫している。	・進んで文章の 構成や展開の仕 方について理 解を深め、学習課 題に沿って、効 果的な文章の構 成や論理の展開 を工夫し、分析 した内容や考察 した内容を紹介 文にまとめよ うとしている。
	「AI時代の『人 間』」	・筆者の主張を支える効果的な段 落の構造や論の形式など、文章の 構成や展開の仕方について理解を 深めている。	・筆者の主張の筋道を 捉え、文章の要旨を把握 している。	・進んで文章の 構成や展開の仕 方について理 解を深め、筆者 の考え方を整理 しようとしている。

	「学びを広げる科学技術と人間について考える」	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、用いている。	・科学技術と人間について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな視点から自分の考えを深めている。	・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、自分の考えを論述しようとしている。
11月	「『対話』の言葉をつくる」	・普段会話の中で何気なく用いている言葉に着目し、その変遷について理解している。	・言葉に関する筆者の考えについて理解するために、文章の内容や構成を的確に捉えている。	・筆者の考え方を参考しながら自分の言語感覚を内省し、学習課題に沿って、意見を整理しようとしている。
	「落語の中の経済学」	・例示を用いた効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・筆者の主張の筋道を捉え、文章の要旨を把握している。	・例示を用いた論の展開を理解しながら、進んで筆者の考え方を整理しようとしている。
12月	「学びを広げる経済との関わりから社会的課題について論じる」	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、用いている。	・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、批判的に読まれることを想定して論理の展開を工夫し、様々な視点から自分の考えを論述しようとしている。
1月	「スポーツとナショナリズム」	・例示を用いた効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・筆者の主張の筋道を捉え、文章の要旨を把握している。	・例示を用いた論の展開を理解しながら、進んで筆者の考え方を整理しようとしている。

3 学 期	2 月	学びを広げる 「『多文化共生社会』について考える」 【資料】「多文化共生社会の構築に向けて」	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、用いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、複数の資料を基に情報を関係付けて自分の考えを深め、論述しようとしている。</li> </ul>
	3 月	「恐怖とは何か」	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の構成や展開、例示など論証の工夫を理解し、筆者の論旨を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張の筋道を捉え、文章の要旨を把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで自らの経験を振り返りながら、本文内容について理解を深めようとしている。</li> </ul>
		「コンクリートの時代」	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮説、検証、批判という本文の論理展開を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容や構成を的確に捉えて筆者の考え方を理解し、それを参考にしながら自らの考え方を表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで筆者の考え方に対する理解を深め、これから時代に求められる「建築」について自分の考え方をまとめようとしている。</li> </ul>

## 5. 教科担当者より

「論理国語」は、実社会において必要となる、文章を論理的に書いたり批判的に読んだりする資質や能力の育成を重視しており、一年次に履修した「現代の国語」の内容をより深化、発展させた科目です。大きな特徴としては、論理的な文章だけではなく、報道や広報の文章や報告書、企画書、法令文などの私たちの身の回りにある様々な実用的な文章にも多く触れていくことが挙げられます。

複雑かつ大量の情報が飛び交う現代社会を生きる私たちにとって、それらの情報を論理的に整理し正しく理解したり、それらをもとに知見を広げ自らの考え方について筋道を立てて分かりやすく伝えたりする力は必要不可欠です。皆さんのが「論理国語」の授業で培う力は、きっと社会を生き抜くための一助となるはずです。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・H.R
国語	文学国語	2	選択	R5・2	文系・23、24、25H.R
使用教科書	三省堂『精選 文学国語』				
副教材	・進研 ウィンステップ Core 国語2 文学的文章編【新課程版】 ・小説速読トレーニング				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 学習方法

- 初読の際には、登場人物、心情表現、情景描写に必ずチェックを入れながら読むこと。
- 登場人物の気持ちを考えながら本文を読むこと。
- 語句・漢字については、辞書を引き、言葉に敏感になること。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学 期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 ・ 5 月	小説の言葉・詩の言葉 「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」 (村上春樹) 「詩はいつでも近いところにある」 (蜂飼耳)	人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方。考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて、構成や展開、描写などを的確に捉えている。	進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の種類を踏まえて内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。

	6月	小説1 「山月記」 (中嶋牧) 小説を書き換える	文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。
		詩歌 「今日」 (谷川俊太郎) 「木に花咲き」 (短歌 15 首) 短歌を創造する	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて、構成や展開、描写などを的確に捉えている。	進んで文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深め、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察しようとしている。
2学期	9月	小説2 「神様」 (川上弘美) 書評を書こう	文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察しようとしている。
	10月	翻案 「ありとぎりぎりす」 (佐野洋子) 翻案作品を作る	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察しようとしている。
	12月	戯曲の言葉 「戯曲の中の「対話」」 (井上ひさし、平田オリザの対談)	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解を深めている。	作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、作品の内容や解釈を踏まえ人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。
3学期	1月	小説3 「捨てない女」 (多和田葉子)	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	進んで文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して内容を解釈しようとしている。
	3月	評論 「文学の仕事」 (加藤周一)	人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。

## 5. 教科担当者より

文学国語では、様々な文学作品を読むことを通して、登場人物の心情を読み取っていきます。また、語彙力を豊かにし、人間や社会、自然などに対するものの見方や考え方、感じ方を深め、読むことの楽しさを味わっていって欲しいと思います。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
国語	古典探究	3	選択	R5・2	全HR
使用教科書	柳原書店『探求 古典探究 古文編・漢文編』				
副教材	進研ウインステップ Core 国語2 古典編〔新課程版〕				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 学習方法

- 古文、漢文ともに 習をした上で授業に臨むこと。
- 古文：古文単語や文法事項（用言・敬語・助動詞など）のチェックをすること。  
読みながら文意を把握し、主語・述語・目的語等の把握に努めること。
- 漢文：書き下し文、句法や重要語をチェックし、主語を補いながら口語訳をすること。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月 5 月	古文・説話、隨筆 「宇治拾遺物語」 (歌詠みて罪を許さること) 「方丈記」 (行く川の流れ)	本文に用いられている語句の意味や用法を正しく理解している。	説話や隨筆という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	この説話や隨筆から考えられる和歌という文化のあり方や、先人の考え方について話し合い、自分の考えを深めようとしている。

	6月	漢文・故事、寓話 「十八史略」 (先從隕始) 「歴代名画記」 (画竜点睛)	本文に用いられている語句の意味や用法を正しく理解している。	故事成語という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	本文の内容を踏まえて登場人物について話し合い、自分の考えを深めようとしている。
	7・8月	古文・物語、日記 「大和物語」 (姥捨) 「更級日記」 (門出)	本文を読むために必要な文語の決まりについて理解を深めている。	他の古典作品や、現代の日記と比較するなど、多面的・多角的視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり、深めたりしている。	本文の内容を踏まえて、その後の展開について話し合い、自分の考えを深めようとしている。
2学期	9月	漢文・史伝 I 「史記」 (赤壁の戦い)	史伝という文章の種類とその特徴について理解を深めている。	史伝という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	本文の内容を踏まえて、物語の展開について話し合い、自分の考えを深めようとしている。
	10・11月	古文・歴史 「大鏡」 (花山院の出家) (道長と伊賀の競射)	敬語を中心に、本文に用いられている語句の意味や用法を正しく理解している。	「大鏡」の成立した背景や、漢詩の文化との関係などを踏まえながら読み、内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	作者の意図や物事の捉え方についての自分の考えを分かりやすくまとめたり、周囲と意見を交換したりしようとしている。
	12月	漢文・文章 「陶淵明集」 (桃下源記)	我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。	「桃下源記」に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり、深めたりしている。	本文の内容を踏まえて、理想的な社会について話し合い、自分の考えを深めようとしている。
3学期	1・2月	古文・物語 「源氏物語」 (光源氏の誕生)	敬語など、本文に用いられている語句の意味や用法を正しく理解している。	物語という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	作者の意図や物事の解釈についての自分の考えを分かりやすくまとめたり、周囲と意見を交換したりしようとしている。
	3月	漢文・史伝 II 「史記」 (鴻門の会) (四面楚歌)	文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	史伝という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組もうとしている。

## 5. 教科担当者より

古典探求では、これまで身に付けた古典に関する知識（用言、助動詞、敬語、句法）などを活用して、様々な文章を読んでいきます。古典作品を読むことを通して、日本や中国の伝統や文化、風習などを知るとともに、先人達のものの見方、感じ方、考え方を理解していきたいと思います。そして、古典作品のおもしろさを味わうことで、古典への興味・関心を広げ、視野を広げていきたいと思います。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	学年	コース・Ⅲ
地理歴史	地理探究	2単位	必履修 (選択)	2年(2, 3 年継続履修)	地理探究の選択者
使用教科書	新詳地理探究(帝国書院)			新詳高等地図(帝国書院)	
副教材	新詳地理資料 COMPLETE2023(帝国書院)・23 サクシード地理(啓隆社)				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、地域や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようすることの大切さについての自覚を深める。

## 2. 学習方法

社会的事象の地理的な見方・考え方を樹かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
---

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、地域や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	地形	・地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解している。	・地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	5 月				
	6 月	気候	・気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。	・気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	7 月				
2 学期	9 月	日本の自然環境	・日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて理解している。	・日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	10 月	地球環境問題	・さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて理解している。	・さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

## 令和5年度 2年生シラバス

2 学 期	11 月	農業	<p>・農業に関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p>	<p>・農業に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
		林業	<p>・林業に関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p>	<p>・林業に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
3 学 期	1 月	水産業	<p>・水産業に関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p>	<p>・水産業に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
		食料問題	<p>・食料の分配の世界的な偏りや、飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解している。</p>	<p>・食料の分配の世界的な偏りや、飢餓がみられる地域とその原因は何かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

## 令和5年度 2年生シラバス

学 期	3 月	エネルギー・鉱産資源	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。

### 5. 教科担当者より

地理総合で身につけた地理的な見方や考え方を働きかせ、持続可能な日本と世界のあり方とともに探求していきます。

地理探求の学習を通して最新の世界情勢や学術動向をより深く理解し、課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養いましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・ID
理科	日本史探究	2	選択履修	R5・2	日本史探究選択者 (2・3年継続履修)
使用教科書	705 詳説日本史(日本史探究) 山川出版社				
副教材	新詳日本史(浜島書店)・要点整理ゼミナール日本史(浜島書店)				

### 1. 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を描かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

### 2. 学習方法

- 授業では、教科書や資料集、授業プリントを活用しながら、日本の歴史の流れや特色などを理解する。
- 一問一答集などを活用して、授業内容を復習し、小テスト等で確認する。
- 要点整理などの問題演習を活用して、復習と理解を深めるとともに、多面的・多角的視点から歴史を考察したり様々な課題を解決したりするための基礎力を身につける。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようとする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを結果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚。我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを添める。

### 4. 単元の学習計画(単元ごとの評価規準)

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○文化の始まり	○日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。	○黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。	○黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。
		○農耕社会の成立	○水稻耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。	○小国から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。	○日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。
	5 月	○古墳文化の展開	○国家の形成と古墳文化について、中国大陆・朝鲜半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の	○中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陆・朝鲜半島との交渉が	○中国大陆・朝鲜半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じて、古墳文化の展開とのつ

	○飛鳥の朝廷	特色を理解している。 ○推古天皇・厩戸主・蘇我馬子による政權運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。	もつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○仏教の受容や遣唐使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。	ながりを見出そうとしている。 ○中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。
6月	○律令国家への道	○隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。	○天智朝・天武朝・持統朝の政局動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。	○隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。
	○平城京の時代	○平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 ○文獻資料をもとに、藤原氏を中心とする政治抗争の進展と農田永年私財法にみられる土地制度の変容を闇づけて考察し、根拠を示して表現している。	○文獻資料をもとに、藤原氏を中心とする政治抗争の進展と農田永年私財法にみられる土地制度の変容を闇づけて考察し、根拠を示して表現している。	○平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。
7月	○律令国家の文化	○隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。	○盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。	○隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。
	○律令国家の変容	○東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。	○蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動搖について考察し、根拠を示して表現している。	○東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。
8月	○夏季補習	-	-	-
2学期	○摂關政治	○藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂關政治を理解している。	○奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂關政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。	○唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂關政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。
	○国風文化	○大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあつた文化が形成されたことを理解している。	○國際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、淨土教の出現による淨土の信仰の変容、かな文学の成立による國文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。	○平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。
10月	○地方政治の展開と武士	○地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開拓、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。	○文獻資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。	○国司の在り方や徵税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。
	○院政の始まり	○貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料	○武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みな	○中世社会の特色について多面的・多角的に考察するこ

		から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。	どを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。	とを通じて、時代を通観する間いを表現し、追究しようとしている。
11 月	○院政と平氏政権 ○鎌倉幕府の成立	○平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 ○諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。	○武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○幕府と朝廷の二元的支配構造の特徴について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。	○古代との比較などを通じて、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。 ○鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。
12 月	○武士の社会 ○モンゴル襲来と幕府の衰退	○承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ○宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。	○武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 ○鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。 ○宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。
1 月	○鎌倉文化 ○室町幕府の成立	○公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけていく。 ○鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。	○宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。
3 学 期	○幕府の衰退と庶民の台頭 ○室町文化	○諸産業や流通、地域経済が成長したことについて、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 ○経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。	○自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 ○室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。	○室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。

## 5. 教科担当者より

日本史探究は、日本の歴史について「調べる」、「まとめる」、「考察する」といった主体的活動を通じて、さらによりよい社会の実現に向けて課題を探究する科目である。そして、これらの活動を通じて様々な情報に基づいて自ら考える力を養うことが求められる。また、先人たちの経験を現代社会に生かす学習でもある。指示を待つだけでなく、自ら考える力がより一層求められる時代を生き抜くためにも、これらの活動に積極的に取り組むことを期待する。

日本史の学習では、基礎的な知識が前提となってくるが、教科書等に取り上げられた諸史資料を活用し、知識を身につけるだけでなく、歴史を学ぶことで考える力を身につけてほしい。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・団
理科	世界史探究	2	選択履修	R5・2	文系クラス(選択者) (2・3年継続履修)
使用教科書	704 詳説世界史(世界史探究) 山川出版社				
副教材	アカデミア世界史(浜島書店)・新世界史要点ノート(応用編)(啓隆社)・新世界史研究ノート(応用編)(啓隆社)・新世界史10分間テスト(山川出版社)				

### 1. 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を勧かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会に有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。

### 2. 学習方法

- 授業では、ノートや資料集を活用しながら、各時代・地域の歴史の流れや特色などを理解する。またメモを取る。
- 10分間テストなどを活用して、授業内容を復習し、小テスト等で確認する。
- 研究ノートなどの問題演習を活用して、各時代や地域などのテーマごとの復習と理解を深めるとともに、多面的・多角的視点から歴史を考察したり様々な課題を解決したりするための基礎力を身につける。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ主とめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、観念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野にいれて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4. 単元の学習計画(単元ごとの評価規準)

学 期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 月	○文明の誕生	○都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。	○壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 ○ハムラビ法典や旧約聖書などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
		○古代オリエント文明とその周辺	○オリエントの大半が乾燥地帯であること、その中で、大河流域のメソポタミアとエジプトで灌溉農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。	○オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
	5 月	○南アジアの古代文明	○南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。	○ヴァルナ制やジャーティ集団の成立をもとに、アーリヤ社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。	○南アジアの古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

		○中国の古代文明 ○南北アメリカ文明	○東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 ○南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを見理解している。	○青銅器や獸骨など考古学的資料や春秋左氏伝などの資料を基に、当事の社会や支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現している。 ○南北アメリカ文明に共通する特徴、特にユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的・多角的に考察し表現している。	○中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○南北アメリカ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
6月	○秦漢帝国	○秦漢帝国といった統一国家支配体制について、それまでの春秋戦国時代と比較したうえで理解している。	○魏晉南北朝の動乱がどのように転換したのかについて、遊牧民とのかかわりも踏まえて理解している。	○兵馬俑や青銅貨幣などの考古学資料や塙鉄鋤などの資料をもとに、秦漢時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響について多面的・多面的に考察し表現している。 ○女史箴図などの図像資料や顧氏家訓などの資料をもとに、魏晉南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	○秦漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	○中国の動乱と変容	○魏晉南北朝の動乱がどのように転換したのかについて、遊牧民とのかかわりも踏まえて理解している。	○隋唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代と他の地域との違いや、時期ごとの変化を踏まえて理解している。	○壁画などの図像資料や旧唐書などの資料をもとに、隋唐社会の特徴や近隣諸國への影響を多面的・多角的に考察し理解している。	○魏晉南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	○東アジア文化圏の形成	○隋唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代と他の地域との違いや、時期ごとの変化を踏まえて理解している。			
7月	○仏教の成立と南アジアの統一国家	○南アジアで生まれた様々な宗教が南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響について理解している。		○インド洋航海図やエリュトゥラー海案内記などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。	○南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	○インド古典文化とヒンドゥー教の定着	○インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのか理解している。		○それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことを踏まえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根付いていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。	○インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
8月	○夏季補習 (問題演習)				
2学期	○東南アジア世界の形成と開拓	○東南アジアの大陸部と諸島部において、どのような国家が形成されたか理解している。		○東南アジアの風土や地形を踏まえたうえで、南アジアや中国との関係及びその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。	○東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	○イラン諸国家の興亡とイラン文明	○アケメネス朝・パルティア・ササン朝などのイラン諸国家がそれらどのように興亡したのか理解している。		○ササン朝と法隆寺の獅子狩図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

	9月	○ギリシア人の都市国家	○アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのか理解している。	○オストラコンなどの考古学的資料やペリクレスの演説などの資料をもとに、ギリシアの社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	○古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
		○ローマと地中海支配	○ローマがどのような経緯で、都市国家から帝国にいたったか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるかを理解している。	○モザイク画などの図像資料や神皇アウグストゥス榮顕錄等の資料を基に、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現できている。	○古代ローマ帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
		○キリスト教の成立と発展	○勢力を拡大させていったキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたかを理解している。	○当時の地中海情勢を踏まえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。	○キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	10月	○アラブの大征服とイスラーム政権の成立	○イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。	○イスラーム勢力の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を考察し表現している。	○イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
		○ヨーロッパ世界の形成	○西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。	○往々の構造を示す概念図やブリュージュの日記などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	○ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
		○イスラーム教の諸地域への伝播	○中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだか理解している。	○トルコ語アラビア語辞典の序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。	○イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	11月	○西アジアの動向	○アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じ、イスラーム教徒の連帯が維持されたことを理解している。	○トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来などの外圧が、西アジアの世界へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○変動する西アジア情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
		○西ヨーロッパの封建社会との展開	○中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、從来との比較を踏まえて理解している。	○中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
		○東ヨーロッパ世界の展開	○ビザンツ帝国の衰退の過程とその周辺のスラ夫人及び非スラ夫人の動向について理解している。	○西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係を踏まえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。	○東ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	3学期	○西ヨーロッパ世界の変容	○封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権化に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。	○大憲章や金印勅書等の資料を基に、中央集権国家の形成に向けた各國の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。	○西ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

	○西ヨーロッパの中世文化	○中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことを理解している。	○大聖堂の写真や大学の講義風景を描いた図像資料などをもとに、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	○中世の西ヨーロッパの文化について、自分が抱いた興味・关心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
2月	○アジア諸地域の自立化と宋	○10~12世紀の東アジア情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。	○清明上河図など図像資料や筒筋縞などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引き起こした変化を多面的・多角的に考察し表現している。	○10~12世紀の東アジアについて、自分が抱いた興味・关心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
3月	○モンゴルの大帝国	○モンゴル帝国がどのようにして成立し、解体していったのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたかを理解している。	○モンゴル帝国の最大版図を示す地図や醍醐理歴代国都之図などの図像資料などをもとに、モンゴル帝国の成立と世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。	○モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・关心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

## 5. 教科担当者より

世界史学習を通じて、私たちの日常生活の「当たり前」が「当たり前ではない」ことを真に理解できます。異なる時代の、異なる場所の出来事の意味を知ることは、異文化理解のトレーニングになります。今まで以上にダイバーシティ（多様性）が求められるこれから時代に、世界史学習は欠かせません。現代世界の様々な事象を違う視点から見るために、ニュースをより深く理解するために、二度と悲惨な戦争を繰り返さないために。

世界史の学習では、扱う対象が時空ともに広範囲にわたるため、高い情報処理力が求められます。まずはどれだけ興味を持って取り組むか、そしてどれだけ復習・反復をやるか。すべてはここにかかっています。

「授業を大切に」「集中力・自己理解力・努力」

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
公民	公共	2	必履修	R5・2	全HR
使用教科書	東京書籍「公共」(公共701)				
副教材	東京書籍「公共ワークノート」 浜島書店「最新図説公共」				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方にについての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自國を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各國が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

## 2. 学習方法

- 新聞、テレビなどのニュースを通じて時事的な問題に关心を持つこと。
- レポート作成活動などにより、自分の考えを成長させることに努める。
- 現代社会の諸問題について、大きな流れを理解するために副教材を効果的に活用する。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめていている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行なうなかで、自らの学習を調整しようとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学 期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
--------	---	--------------	-------	----------	-------------------

I 学期	4月	第1部「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 (1) 現代社会に生きる青年	・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。
	5月	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会	・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
	6月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。
	7月			
2 学期	8月			
	9月	第2章 法の働きと私たち	・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。

	10月 11月	第3章 経済社会で生きる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。</li> <li>・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。</li> </ul>
	12月	第4章 私たちの職業生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、理解している。</li> <li>・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、主体的に追究している。</li> </ul>
3学期	1月 2月	第5章 国際社会のなかで生きる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について理解している。</li> <li>・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、主体的に追究している。</li> </ul>
	3月	第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に必要な事項を理解している。また、第1部・第2部で学習した知識と関連付けていく。</li> <li>・必要な資料を収集・整理し、必要な事項を抽出しまどめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し、分析したり考察したり判断したりしている。</li> <li>・得られた結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明したり表現したりしている。</li> <li>・探究のための学習計画をふまえて、探究活動の進行を自らふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。</li> </ul>

## 5. 教科担当者より

毎日、必ず新聞を読んで、日本及び世界で政治・経済・社会にどのようなことが起きているのか、現代社会の特徴的な問題とは何なのかに关心を持つことが重要です。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
数学	数学II	2	選択履修	R5・2	全HR
使用教科書	深進数学II（啓林館）				
副教材	電子教材（啓林館・Libry） (アドバンスα数学II、マスクレードα数学II、アベレージ数学II、ステップアップノート数学II、未来へひろがる問題集1,2,3、Focus Gold 5th数学II、Focus Gold Smart数学II)、マスクレードα数学II（啓林館）				

### 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
高次方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようとする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

### 2. 学習方法

- ・次に行われる授業の分野を予習する。
- ・教科書の例題を中心に解説されるので、理解を深める。
- ・教科書の練習問題、問題集、参考書、プリントなどを使って演習し復習する。
- ・単元ごとに小テストを行い、その分野での理解を深める。
- ・言葉、数式、グラフ（図）を用いた思考を繰り返し行い、学習内容の理解を深める。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
高次方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4月	三角関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数のグラフがかけるようになる。</li> <li>・加法定理、2倍角の公式、半角の公式等を導き、正しく使えるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフを用いて三角方程式、三角不等式を考察できるようになる。</li> <li>・合成を利用して問題解決ができるようになる。</li> </ul>	事象をいろいろな式の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。
	5月	指数関数と対数関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数、対数の定義を理解し、基本的な計算が出来るようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数関数と対数関数のグラフをかき、方程式、不等式への応用ができるようになる。</li> </ul>	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	6月	微分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微分係数の定義を理解し、いろいろな関数の導関数を求められるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフ上の点における接線の傾きを考察することによって、関数の増減を調べることができるようになる。</li> </ul>	
	7月	積分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積分の定義を理解し、いろいろな関数の積分ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定積分を用いて、放物線や直線等で囲まれた部分の面積を求めることができるようになる。</li> </ul>	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
2 学期	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
3 学期	1月				
	2月				
	3月				

## 5. 教科担当者より

数学Ⅰに比べ、各分野における計算量が増えます。内容理解のための演習問題は不可欠であるとともに、一つ一つの問題を最後まで解き、計算のやり直しまで行うなどの学習に取り組みましょう。また、複数の分野を融合した考えに基づいた内容も増えてきます。不明な点がある場合はその時に解決することが肝心です。問題演習による解放の暗記ではなく、解答の根拠を意識しながら手を動かした学習をしましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
数学	数学Ⅲ	1	選択履修	R5・2	理系
使用教科書	深進数学Ⅲ（啓林館）				
副教材					

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付ける。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

## 2. 学習方法

- ・次に行われる授業の分野を予習する。
- ・教科書の例題を中心に解説されるので、理解を深める。
- ・教科書の練習問題、問題集、参考書、プリントなどを使って演習し復習する。
- ・単元ごとに小テストを行い、その分野での理解を深める。
- ・言葉、式式、グラフ（図）を用いた思考を繰り返し行い、学習内容の理解を深める。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けていく。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けていく。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 月				
	5 月				
	6 月				
	7 月				
2 学 期	9 月				
	10 月				
	11 月				
	12 月				
3 学 期	1 月	関数の極限 ・分数関数と無理関数 ・関数の極限と連続性	・分数関数、無理関数、逆関数、合成関数などを学び、その性質を理解する。 ・数列や関数の極限について学び、その性質を理解する。	・分数関数、無理関数等のグラフがかけるようになり、方程式、不等式の解法に利用できるようになる。 ・数列の極限値について、表現、考察ができるようになる。	事象をいろいろな式の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用したり、粘り強く考え数学的論理に基づき判断しようしたりしている。
	2 月	微分法 ・微分と導関数	導関数の定義を学び、いろいろな関数の導関数が求められるようになる。	導関数を利用し、関数の極限値を求めることができ、グラフの概形がかけるようになる。	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	3 月	・いろいろな関数の導関数 ・導関数の応用	置換を利用したりして、いろいろな関数の導関数が求められるようになる。	いろいろな関数についての微分法を理解し、その有用性を認識するとともに、接線の方程式や、グラフの増減が求められるようになる。	事象を図形と方程式の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用したり、粘り強く考え数学的論理に基づき判断しようしたりしている。

## 5. 教科担当者より

数学の学習はとにかく自分の頭で考えて書いていくことが大切です。黒板の内容をただ写すだけでは理解はできず、当然テストでも思うような良い点は取れません。予習→授業→復習のサイクルを今一度しっかりと確立させ、家庭学習も含めて毎日コツコツと学習していく下さい。もし、どうしても分からぬ所があったら、先生や友達に聞くなどして必ず解決して下さい。分からぬことを分かるようになることが勉強です。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
数学	数学B	2	選択履修	R5・2	理系
使用教科書	深進数学B（啓林館）				
副教材	マスグレードα 数学B+C				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付け、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈できる能力を身につける。	数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身につける。また、現象を数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようとする。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え方論に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

## 2. 学習方法

- ・次に行われる授業の分野を予習する。
- ・教科書の例題を中心に解説されるので、理解を深める。
- ・教科書の練習問題、問題集、参考書、プリントなどを使って演習し復習する。
- ・単元ごとに小テストを行い、その分野での理解を深める。
- ・言葉、式式、グラフ（図）を用いた思考を繰り返し行い、学習内容の理解を深める。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数列の論理的な考え方、統計についての基本的な概念や原理・法則、またデータを読み取る力を体系的に理解している。	数列の構成要素間の関係などに着目し、規則性を見いだし、論理的に考察する力を身につけている。また、統計データから数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え方論に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようしたりしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 月				
	5 月				
	6 月	数列 ・等差数列、等比 数列	数列を定義し、等差 数列、等比数列の性質 を理解する。	等差数列、等比数列 の性質を理解し、一般 項や数列の和を求めら れるようになる。	問題解決の過程を振 り返って考察を深めたり 、評価・改善したり しようとしている。
	7 月	・いろいろな 数列	数列と和の関係や、 いろいろな規則性に気 づき一般項を求められ るようになる。	$\Sigma$ 記号を理解し、數 列の和を求められるよ うになる。また、複雑な 規則性を持つ数列の一 般項を求められるよう になる。	事象を数列の考え方 を用いて考察するよさを 認識し、問題解決にそ れらを活用したり、 粘り強く考え数学的論 拠に基づき判断しよう としたりしている。
	9 月	・漸化式と数学 的帰納法 統計的な推測	漸化式の意味を理解 し、各項間の規則性よ り、一般項を求められ るようになる。	漸化式を利用した り、数学的帰納法によ る証明方法を理解し、 論理的に記述できるよ うになる。	自然数に対する証明 数学的帰納法を活用と したり、粘り強く考え 数学的論拠に基づき判 断しようとしたりして いる。
2 学 期	10 月				
	11 月				
	12 月				
3 学 期	1 月				
	2 月				
	3 月				

## 5. 教科担当者より

単なる計算練習や繰り返しの問題演習だけでは、安定した学習効果を得ることが難しい内容が多く含まれます。様々な事象を規則性に着目しながら、言葉による表現も意識しつつ立式の根拠の理解に励みましょう。また、日常に起こる現象を数学で表現する面白さに触れ、多くの考えを習得しようと心がけましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
数学	数学B	2	選択履修	R5・2	文系
使用教科書	深進数学B（啓林館）				
副教材	マスグレードα 数学B+C				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付け、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈できる能力を身につける。	数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身につける。また、現象を数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようとする。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え方の論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

## 2. 学習方法

- ・次に行われる授業の分野を予習する。
- ・教科書の例題を中心に解説されるので、理解を深める。
- ・教科書の練習問題、問題集、参考書、プリントなどを使って演習し復習する。
- ・単元ごとに小テストを行い、その分野での理解を深める。
- ・言葉、式式、グラフ（図）を用いた思考を繰り返し行い、学習内容の理解を深める。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数列の論理的な考え方、統計についての基本的な概念や原理・法則、またデータを読み取る力を体系的に理解している。	数列の構成要素間の関係などに着目し、規則性を見いだし、論理的に考察する力を身につけている。また、統計データから数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え方の論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 月				
	5 月				
	6 月				
	7 月				
2 学 期	9 月				
	10 月				
	11 月	数列 ・等差数列、等比 数列	数列を定義し、等差 数列・等比数列の性質 を理解する。	等差数列・等比数列 の性質を理解し、一般 項や数列の和を求められ るようになる。	問題解決の過程を振 り返って考察を深めたり 、評価・改善したり しようとしている。
	12 月	・いろいろな 数列	数列と和の関係や、 いろいろな規則性に気 づき一般項を求められ るようになる。	$\Sigma$ 記号を理解し、数 列の和を求められるよ うになる。また、複雑な 規則性を持つ数列の一 般項を求められるよう になる。	事象を数列の考え方 を用いて考察するよさを 認識し、問題解決にそ れらを活用としたり、 粘り強く考え数学的論 拠に基づき判断しよう としたりしている。
3 学 期	1 月	・漸化式と数学 的帰納法	漸化式の意味を理解 し、各項間の規則性よ り、一般項を求められ るようになる。	漸化式を利用した り、数学的帰納法によ る証明方法を理解し、 論理的に記述できるよ うになる。	自然数に対する証明 数学的帰納法を活用と したり、粘り強く考え 数学的論拠に基づき判 断しようとしたりして いる。
	2 月	統計的な推測	統計処理上、必要な 数値計算ができるよう になる。	統計データからそれ ぞれの着眼点で、グラ フ化し、論理的に捉え ることができるようにな る。	問題解決の過程を振 り返って考察を深めたり 、評価・改善したり しようとしている。
	3 月	数学と社会生活	身のまわりに存在す る数学の概念を理解 し、考察できるよう になる。	実生活への数学の活 用を考え、考察を深め る。	事象を数列の考え方 を用いて考察するよさを 認識し、問題解決にそ れらを活用としたり、 粘り強く考え数学的論 拠に基づき判断しよう としたりしている。

## 5. 教科担当者より

単なる計算練習や繰り返しの問題演習だけでは、安定した学習効果を得ることが難しい内容が多く含まれます。様々な事象を規則性に着目しながら、言葉による表現も意識しつつ立式の根拠の理解に励みましょう。また、日常に起こる現象を数学で表現する面白さに触れ、多くの考えを習得しようと心がけましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
数学	数学 C	2	選択履修	R5・2	理系
使用教科書	深進数学 C (啓林館)				
副教材	マスグレードα 数学 B+C				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付け、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈できる能力を身につける。	数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身につける。また、現象を数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

## 2. 学習方法

- ・次に行われる授業の分野を予習する。
- ・教科書の例題を中心に解説されるので、理解を深める。
- ・教科書の練習問題、問題集、参考書、プリントなどを使って演習し復習する。
- ・単元ごとに小テストを行い、その分野での理解を深める。
- ・言葉、式式、グラフ(図)を用いた思考を繰り返し行い、学習内容の理解を深める。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ベクトルの論理的な考え方、複素数平面についての基本的な概念や原理・法則、また平面上の様々な曲線を描き、処理できる力を体系的に身に付けています。	ベクトルを成分表示したり、位置ベクトルで図形および空間を論理的に考察する力を身に付けています。また、複素数平面や曲線のグラフをかき、数理的に考察する力を身に付けています。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 月				
	5 月				
	6 月				
	7 月				
2 学 期	9 月	平面上のベクトル ・ベクトルと演算 ・ベクトルと図形	・平面上のベクトルを定義し、その演算ができるようになる。 ・ベクトルを用いて平面上の図形を考察できる。	・ベクトルを利用して三角形の面積等を求めることができるようになる。 ・位置ベクトルを利用して、図形を考察できるようになる。	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	10 月	空間座標とベクトル	ベクトルを用いて空間上の図形を考察できる。	空間内の点を位置ベクトル、成分表示を利用することによって的確に捉えることができる。	事象をベクトルの考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。
3 学 期	11 月	複素数平面	複素数を極形式で表して、ド・モアブルの定理等を用いて計算することができる。	複素数平面上の点の移動を理解し、写像的な考え方ができるようになる。	複素数平面での点の平行移動や、回転移動を考え、粘り強く数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。
	12 月	平面上の曲線 数学的な表現の工夫	複雑な関数を、媒介変数表示するなど、工夫して捉えることができるようになる。 行列を用いた一次変換の概念を理解する。	いろいろな曲線の特徴を捉えて、平面上に曲線を描くことができるようになる。 いろいろな事象を数学的な考え方で分析できるようになる。	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
1 月					
2 月					
3 月					

## 5. 教科担当者より

単なる計算練習や繰り返しの問題演習だけでは、安定した学習効果を得ることが難しい内容が多く含まれます。様々な事象を数式や図を用いて表現しつつ、言葉による表現も意識しながら立式の根拠的理解に励みましょう。また、日常に起こる現象を数学で表現する面白さに触れ、多くの考えを習得しようと心がけましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
数学	数学 C	2	選択履修	R5・2	文系
使用教科書	深進数学 C (啓林館)				
副教材	マスグレードα 数学 B+C				

### 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付け、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈できる能力を身につける。	数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身につける。また、現象を数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようとする。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

### 2. 学習方法

- ・次に行われる授業の分野を予習する。
- ・教科書の例題を中心に解説されるので、理解を深める。
- ・教科書の練習問題、問題集、参考書、プリントなどを使って演習し復習する。
- ・単元ごとに小テストを行い、その分野での理解を深める。
- ・言葉、式、グラフ（図）を用いた思考を繰り返し行い、学習内容の理解を深める。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ベクトルの論理的な考え方、複素数平面についての基本的な概念や原理・法則、また平面上の様々な曲線を描き、処理できる力を体系的に身に付けています。	ベクトルを成分表示したり、位置ベクトルで図形および空間を論理的に考察する力を身に付けています。また、複素数平面や曲線のグラフをかき、数理的に考察する力を身に付けています。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようしたりしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4月				
	5月				
	6月	平面上のベクトル ・ベクトルと 演算 ・ベクトルと 図形	・平面上のベクトルを 定義し、その演算がで きるようになる。 ・ベクトルを用いて平 面上の図形を考察でき る。	・ベクトルを利用して 三角形の面積等を求 めることができるよう になる。 ・位置ベクトルを利 用して、図形を考察でき るようになる。	問題解決の過程を振 り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	7月	空間座標とベク トル	ベクトルを用いて空 間上の図形を考察でき る。	空間内の点を位置ベ クトル、成分表示を利 用することによって的 確に捉えることができる。	事象をベクトルの考 えを用いて考察するよ さを認識し、問題解決 にそれらを活用とし たり、粘り強く考 え数学的論拠に基づき 判断しようとしている。
	9月	複素数平面	複素数を極形式で表 して、ド・モアブルの定 理等を用いて計算する ことができる。	複素数平面上の点の 移動を理解し、写像的 な考え方ができるよう になる。	複素数平面での点の 平行移動や、回転移動 を考え、粘り強く数学 的論拠に基づき判断し ようとしている。
	10月	平面上の曲線 数学的な表現の 工夫	複雑な関数を、媒介 変数表示するなど、工夫 して捉えることがで きるようになる。 行列を用いた1次変 換の概念を理解する。	いろいろな曲線の特徴 を捉えて、平面上に曲 線を描くことができる ようになる。 いろいろな事象を数学 的な考え方で分析でき るようになる。	問題解決の過程を振 り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
2 学期	11月				
	12月				
	1月				
3 学期	2月				
	3月				

## 5. 教科担当者より

単なる計算練習や繰り返しの問題演習だけでは、安定した学習効果を得ることが難しい内容が多く含まれます。様々な事象を数式や図を用いて表現しつつ、言葉による表現も意識しながら立式の根拠の理解に励みましょう。また、日常に起こる現象を数学で表現する面白さに触れ、多くの考えを習得しようと心がけましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
理科	物理	3	選択履修	R5・2	理系の選択者
使用教科書	改訂版 物理 (数研出版)				
副教材	ニューグローバル 物理基礎+物理 (東京書籍)				

### 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するため必要な資質・能力を身につける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

### 2. 学習方法

- 予習では、事前に教科書を読んでおき、何が分かって何が分からいかを整理しておくこと。そうすれば授業のときに自信をもって質問ができるし、質問ができなくても疑問だった部分が疑問で無くなったらどうか確認することができます。より高いレベルの疑問点や自分の思考プロセスの問題点に気づけたら、さらに良いと思います。
- 授業で基本事項を学んだ後の学習は問題演習を中心です。問題演習には授業中に先生が行う演習と家庭学習での演習があります。授業での演習においては、先生が基本的な概念をどう適用していくのか注意深く見ておく必要があります。そして、家庭での演習においては、実際に自分の力でその問題を解く力を養います。実際に問題を解く上では、解法につながる作図、グラフの書き方、計算方法、数値の処理の仕方など様々なスキルを身につけていく必要があります。
- 大学入試は、教科書や授業の基礎的な内容の積み重ねから出題されます。公式を丸暗記するだけでなく、「なぜその式が導かれるか」を授業で理解しましょう。まずは授業に集中して臨み、教科書の内容を徹底的に理解しようと努力することから物理の学習が始まります。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観察や実験などを通じて自然現象や科学的な現象を基本的な概念や原理及びその法則性を理解できたか。	さまざまな物理現象を論理的に考察・分析し、その本質を原理や法則から説明できるか。 観察や実験を通して、物理現象を論理的に分析的し、問題を解決し、実験結果(事実)にもとづいて科学的に判断できるか。	自然現象に関心を持ち、科学的な見方をしているか。 授業、実験に意欲的に参加し、論理的に探究しようとする態度が見えるか。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学 期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 月	剛体	・変位と移動距離の違いを理解している。 ・水平投射は鉛直方向には自由落下、水平方向には等速直線運動をしていることを理解し、適切に式を運用できる。 ・力のモーメントについて理解している。 ・剛体のつりあいでは、並進運動をしない条件と回転運動しない条件が必要なことを理解している。 ・運動量と力積について、求め方を理解している。 ・運動量の変化は、その間に物体が受けた力積に等しいことを理解している。	・動く観測者から見た場合の、観測者と同じ平面上を動く物体の運動のようすを説明できる。 ・斜方投射の運動のようすを、鉛直方向と水平方向に分けて説明できる。 ・剛体にはたらく力がつりあうための2つの条件を理解し、はたらく力の間の関係について説明できる。 ・運動量の変化と力積の関係の式から、物体が受ける力積と平均の力の大きさについて説明することができる。	・平面運動をしている物体の速度や加速度、相対速度などの表し方について学ぶ意味を理解しようとしている。 ・落体の運動、特に水平投射、斜方投射について、物体の運動はどのようにになっているか理解しようとしている。 ・剛体のつりあいには、並進運動しない条件だけではなく、回転運動をしない条件が必要なことを理解しようとしている。 ・身のまわりにある物体どうしの衝突の際に、衝突の前後で変わらない量があり、それが運動量であること、また運動量が衝突の前後で保存する条件を理解しようとしている。
	5 月		・運動量保存則	・運動量保存則が成り立つ条件を説明することができる。 ・ボールの反発係数を実験により調べることができる。 ・単振り子の周期の式を用いて、重力加速度の大きさが異なる場所での運動のようすを考えることができる。	・等速円運動する物体を調べる実験に主体的に取り組んでいる。 ・ケプラーの第二法則を検証する実験や、地球の周囲を回る物体の軌道半径、周期を調べる実習に主体的に取り組んでいる。
	6 月		・直線運動、平面運動における運動量保存則を式で表現することができる。 ・等速円運動をしている物体の回転の速度、角速度、周期、回転数の諸量の定義が理解できている。 ・単振動の変位、速度、加速度の式、運動方程式を理解している。	・だ円運動する惑星の運動について説明できる。 ・無限遠を基準とした万有引力の位置エネルギーについて説明できる。	
	7 月				
2 学 期	9 月	円運動と万有引力			
	10 月				
	11 月				
3 学 期	12 月	第2編「熱と気体」 気体のエネルギーと 状態変化	・気体が熱運動して壁などの面に力を及ぼすことから圧力の大きさを表す式を導くことができる。 ・單原子分子理想気体の内部エネルギーについて理解できている。 ・気体の状態変化の、「定積変化」、「定圧変化」、「等温変化」、「断熱変化」を、それぞれp-V図や式で表すことができる。	・壁に分子が衝突することから分子の運動量の変化、壁が受ける力積から壁が受ける圧力を考察し、理想気体の気体分子の速度と圧力の関係について説明できる。 ・気体の状態変化と気体がされた仕事について説明できる。 ・定積モル比熱と定圧モル比熱の違いを正しく理解し、2つの間に成り立つ関係について説明できる。	・気体の分子がもつてゐる質量、速度、運動量などのミクロな量と、気体の圧力などマクロな量がどのような関係にあるか興味関心をもち、理解しようとしている。 ・気体が状態変化をするとき、エネルギーはどのようになるのかを理解しようとしている。
	1 月				
3 学 期	2 月	第3編「波」 波の伝わり方	・波が伝わるようすを、グラフで表現することができる。 ・音の干渉について、音が強めあう条件と弱めあう条件を理解	・水面を伝わる波の発生条件について説明できる。 ・横波と縦波の違いについて説明できる。 ・2つの波源から出た波	・水面波の干涉の実験や、水面波の反射と屈折の実験、水面波の回折の実験に主体的に取り組んでいる。 ・音が関係する現象に興

	音の伝わり方 光	<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うなりについて、音の干渉の知識を用いて定量的に扱うことができる。</li> <li>・光は進んでいくとき、反射、屈折、分散、散乱を行うこと、またその際にどのような法則が成り立っているのかを理解している。</li> </ul>	<p>が、強めあう条件と弱めあう条件を説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音を伝える際、空気などの媒質が必要であることを説明できる。</li> <li>・光が関係する現象に興味をもち、光についての基本事項と光の進み方について理解しようとしている。</li> </ul>	<p>味をもち、音の性質と音の伝わり方について理解しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光が関係する現象に興味をもち、光についての基本事項と光の進み方について理解しようとしている。</li> <li>・ヤングの実験や回折格子による光の干渉実験に主体的に取り組んでいる。</li> </ul>
3月				

## 5. 教科担当者より

直線的な現象を扱う物理基礎に対して、平面的・空間的な現象を扱うため、より深い理解が求められます。現象を理解し、作図をしっかりとすることで対応しましょう。

身の回りに起こっている運動(円運動、振り子の運動、天体の運動、気体の分子運動など)や波動現象(水面波、音、光など)、自然現象に興味を持ち、その原因と法則性について考える態度を普段から持つようになります。学んだことを駆使し、イメージをはたらかせて、問題、課題、質問、疑問などを定性的、定量的に考える努力を怠らないことが大切です。すぐに分らなくても、簡単にあきらめないことです。理解できた先には、さらに面白い物理の世界が待っています。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・授業
理科	化学基礎	2	必履修	R5・2	理系
使用教科書	新編 化学基礎（東京書籍）				
副教材	2023 新課程版 セミナー化学基礎+化学（第一学習社） 新課程版 スクエア 最新図説化学（第一学習社）				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

## 2. 学習方法

- 毎日の授業を大切にし、授業を通して科学的な見方や考え方ができるよう学習目標を設定して努力することが大切です。
- 自分で考えたことや感じたこと、説明されたことをノートにメモし、整理して記入しておくと、後で役立つばかりでなく学習にも広がりが生まれます。
- 各種レポートの作成においては、学んだことと記録、考察を対比させ、考察することが大切です。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けています。	物質とその変化から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	・化学とは何か ・物質の成分と構成元素  ・原子の構造と元素の周期表	化学と人間生活について、化学と物質を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けていく。 物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	身近な物質や元素について、観察、実験などを通じて探究し、科学的に考察し、表現している。 原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	化学と人間生活に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

		や記録などの基本的な技能を身に付けている。		
5 月	・化学結合	物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
6 月	・物質量と化学反応式	物質量と化学反応式についての実験などを通して、物質量、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質量、化学反応式について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	物質量、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
7 月	・酸と塩基	化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	酸・塩基と中和について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
8 月				
9 月				
10 月	・酸化還元反応	化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	酸化と還元について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
11 月				
12 月				

3 学 期	1 月			
	2 月			
	3 月			

## 5. 教科担当者より

- ・教科書、プリント等の教材を準備し、忘れ物のないようにしましょう。
- ・1年間授業にきちんと出席して、前向きに取り組むことが大切です。
- ・授業の中での説明をよく聞いて、特に実験などでは安全に留意し、積極的に参加しましょう。
- ・実験や観察を実施して課されたレポートは必ず提出しましょう。
- ・授業中はプリントやノートを、定期考査では副教材を有効に活用します。
- ・身近な題材を例として多く取り入れ、化学現象を身近なものとして理解されるような授業を開きます。
- ・授業では身近な物質や例を多く取り入れます。日頃から身近なものに対しての興味・関心をもつように心がけてください。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
理科	化学基礎	2	必履修	R5・2	文系
使用教科書	新編 化学基礎（東京書籍）				
副教材	化学基礎 研究ノート（博洋社）				

### 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わる、科学的に探究しようとする態度を養う。

### 2. 学習方法

- 毎日の授業を大切にし、授業を通して科学的な見方や考え方ができるように学習目標を設定して努力することが大切です。
- 自分で考えたことや感じたことを、説明されたことをノートにメモし、整理して記入しておくと、後で役立つばかりでなく学習にも広がりが生まれます。
- 各種レポートの作成においては、学んだことと記録、考察を対比させ、考察することが大切です。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けています。	物質とその変化から問題を見いだし、見通しをもって観察。実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わる、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

### 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	・化学とは何か ・物質の成分と構成元素	化学と人間生活について、化学と物質を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けています。	身近な物質や元素について、観察、実験などを通じて探究し、科学的に考察し、表現している。	化学と人間生活に主体的に関わる、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	5 月	・原子の構造と元素の周期表	物質の構成粒子についての実験などを通じて、原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している	原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している	原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わる、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

		探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けています。	る。	いる。
6 月	・化学結合	物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けています。	イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
7 月	・物質量と化学反応式	物質量と化学反応式についての実験などを通して、物質量、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けています。	物質量、化学反応式について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	物質量、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
8 月				
9 月				
10 月	・酸と塩基	化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けています。	酸・塩基と中和について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
11 月				
12 月				
1 月	・酸化還元反応	化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けています。	酸化と還元について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2 月				
3 月				

**5. 教科担当者より**

- ・教科書、プリント等の教材を準備し、忘れ物のないようにしましょう。
- ・1年間授業にきちんと出席して、前向きに取り組むことが大切です。
- ・授業の中での説明をよく聞いて、特に実験などでは安全に留意し、積極的に参加しましょう。
- ・実験や観察を実施して課されたレポートは必ず提出しましょう。
- ・授業中はプリントやノートを、定期考査では副教材を有効に活用します。
- ・身近な題材を例として多く取り入れ、化学現象を身近なものとして理解されるような授業を展開します。
- ・授業では身近な物質や例を多く取り入れます。日頃から身近なものに対しての興味・関心をもつように心がけてください。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・Ⅲ
理科	化学	1	選択履修	R5・2	理系
使用教科書	化学 Vol.1 理論編 化学 Vol.2 物質編 (東京書籍)				
副教材	2023新課程版 セミナー化学基礎+化学(第一学習社) 新課程版 スクエア 最新図説化学(第一学習社)				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

## 2. 学習方法

- 毎日の授業を大切にし、授業を通して科学的な見方や考え方ができるように学習目標を設定して努力することが大切です。
- 自分で考えたことや感じたこと、説明されたことをノートにメモし、整理して記入しておくと、後で役立つばかりでなく学習にも広がりが生まれます。
- 各種レポートの作成においては、学んだことと記録、考察を対比させ、考察することが大切です。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けています。	化学的な事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学 期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 月				
	5 月				
	6 月				
	7 月				
	8 月				
2 学 期	9 月				

期	10 月			
	11 月			
	12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の状態</li> </ul>	<p>物質の状態とその変化についての実験などを通して、状態変化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>状態変化について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>
3 学 期	1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気体の性質</li> </ul>	<p>物質の状態とその変化についての実験などを通して、気体の性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>気体の性質について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶液の性質</li> </ul>	<p>溶液と平衡についての実験などを通して、溶解平衡および溶液とその性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>溶解平衡および溶液とその性質について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・固体の構造</li> </ul>	<p>物質の状態とその変化についての実験などを通して、固体の構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>固体の構造について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>

	・化学反応と熱・光  2月	化学反応とエネルギーについての実験などを通して、化学反応と熱・光の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。	化学反応と熱・光について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	化学反応と熱・光について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	・電池と電気分解  3月	化学反応とエネルギーについての実験などを通して、電池、電気分解の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。	電池、電気分解について、問題を見いだし見通しをもって実験などをを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	電池、電気分解について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 5. 教科担当者より

- ・教科書、プリント等の教材を準備し、忘れ物のないようにしましょう。
- ・1年間授業にきちんと出席して、前向きに取り組むことが大切です。
- ・授業の中での説明をよく聞いて、特に実験などでは安全に留意し、積極的に参加しましょう。
- ・実験や観察を実施して課されたレポートは必ず提出しましょう。
- ・授業中はプリントやノートを、定期考査では副教材を有効に活用します。
- ・身近な題材を例として多く取り入れ、化学現象を身近なものとして理解されるような授業を開設します。
- ・授業では身近な物質や例を多く取り入れます。日頃から身近なものに対しての興味・関心をもつよう心がけてください。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
理科	生物基礎	2	必履修	R5・2	理系・生物選択
使用教科書	高等学校 生物基礎 (数研出版)				
副教材	新課程フォトサイエンス 生物図録(数研出版)、生物基礎 研究ノート(博洋社) 2023 新課程版セミナー生物基礎+生物(第一学習社)				

### 1. 科目の目標

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
生物や生物現象に関わり、科学的に探究するために必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。	生物や生物現象を、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

### 2. 学習方法

- 暗記するだけでなく、生物現象を図式化したりすることでイメージして説明することで理解を深める。
- ノートは板書を写すだけでなく、口頭の説明や気づきなども書き加えると、学習への広がりが生まれる。
- 実験・観察は積極的に取り組むと技能が身につく。レポートは結果だけでなく、授業内容や調べたことを加えると考察の力がつく。また、説明や注意はよく聞き、安全に十分注意して行う。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象について、知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得を図る。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を育成する。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組む力、自ら学習を調整しようとする力を養う。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学 期	月	単元（学習 内容）	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取 り組む姿勢
1	4	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様 性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物が「細胞からできている」、 「生命活動にはエネルギーが必要」、 「遺伝情報としてDNAをもっている」などの共通性をもつことを理解する。</li> <li>生物のもつ共通性は共通の祖先に由来することを理解する。</li> <li>観察①「さまざまな細胞の観察」(p. 33)を行い、さまざまな生物に、細胞からできているという共通性を見ることを確かめる。</li> <li>観察②「原核細胞の観察」(p. 38)を行い、原核細胞と真核細胞の違いを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな哺乳類の比較に基づいて、生物が生息環境に適した形態や機能をもっていることに気づき、説明できる。</li> <li>哺乳類以外の生物について、環境に適した形態や機能をもっていることに気づき、説明できる。</li> <li>さまざまな生物の比較に基づいて、すべての生物に見られる特徴について考え、共通性を見いだすことができる。</li> <li>原核細胞と真核細胞の共通点と相違点を見いだすことができる。</li> <li>進化の過程において、真核細胞と原核細胞のどちらが先に現れたのか、理由とともに説明することができる。</li> <li>さまざまな生物の共通点と相違点を進化の視点に基づいて調べ、説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性に关心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
1	4	第2節 エネルギー と代謝	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸・光合成の過程でATPが合成されることを理解する。</li> <li>酵素の触媒作用と基質特異性について理解する。</li> <li>生体内の化学反応が、酵素のはたらきによって進行することを理解する。</li> <li>実験①「カタラーゼのはたらき」(p. 58)を行い、酵素のはたらきを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物や植物のエネルギーの獲得方法を参考しながら、菌類や細菌がどのようにエネルギーを獲得しているかを調べ、説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸と光合成に关心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
1	5	第2章 遺伝子とそ のはたらき 第1節 遺伝情報と DNA	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの構造および塩基の相補性を理解する。</li> <li>DNAの塩基配列が遺伝情報をとめていることを理解する。</li> <li>実験②「DNAの抽出」(p. 65)を行い、生物がDNAをもつことを確かめる。</li> <li>実習③「DNA模型の作製」(p. 69)を行い、DNAの立体構造や、塩基配列にさまざまなパターンが生じることを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの構造を示した模式図に基づいて、塩基の相補性などのDNAの構造の特徴を見いだすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報とDNAに关心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
1	5	第2節 遺伝情報の 複製と分配	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAが半保存的複製という方法によって正確に複製されることを理解する。</li> <li>細胞周期の進行に伴って、DNAが複製され、分配されることを理解する。</li> <li>観察④「体細胞分裂の観察」(p. 80)を行い、細胞分裂によって染</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複製後のDNAの模式図を比較し、DNAの正確な複製には塩基の相補性が利用されていることに気づき、説明できる。</li> <li>細胞当たりのDNA量と細胞数の関係のグラフから、特定の条件で細胞周期の各期の長さを推定できることに気づくことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報の複製と分配に关心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>

		染色体が分配されていることを確かめる。	
1	5 6	第3節 遺伝情報の発現 ・DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される、転写・翻訳の過程を理解する。 ・分化した細胞では、細胞ごとに異なる遺伝子が発現していることを理解する。 ・実験③「DNA模型を使った転写と翻訳の理解」(p. 91)を行い、転写と翻訳について理解を深める。	・DNAの塩基配列と対応するタンパク質のアミノ酸配列を示した資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだすことができる。 ・コドンが塩基3個の配列で20個のアミノ酸を指定している理由について考え、説明することができる。 ・特定の塩基配列からなる人工DNAを用いた実験結果をもとに考え、コドンが指定するアミノ酸を推定することができる。 ・分化した細胞と遺伝子発現に関する資料に基づいて考え、からだを構成する細胞において、すべての遺伝子が常に発現しているわけではないことに気づき、各部位で発現する遺伝子の違いによって各種細胞が異なる形やたらきをもっていることを見いだすことができる。 ・ヒトゲノム計測の概要やその意義について調べ、レポートにまとめて説明することができる。 ・さまざまな生物とその遺伝子数を調べ、その生物の特徴と遺伝子数の関係についての自分の考えをまとめ、説明することができる。
1	6	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 ・体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。 ・自律神経系と内分泌系が、からだを調節するしくみを理解する。 ・実験③「運動によるからだの状態の変化」(p. 109)を行い、運動をしたときに生じるからだの状態の変化がなぜ起こるのかを考える。	・実験③「運動によるからだの状態の変化」(p. 109)で見られた運動の直後での心臓の拍動の変化において、交感神経や副交感神経がそれぞれどのようにはたらいていたかを考える。 ・チロキシンを例に、フィードバックがはたらかなくなった場合、どのようなことが起こるかを考え、説明することができる。 ・身近な事例において、からだの状態がどのように変化するか自律神経のはたらきに注目して考え、説明することができる。
1	6 7	第2節 体内環境の維持のしくみ ・自律神経系と内分泌系のはたらきによって血糖濃度が調節されるしくみを理解する。 ・糖尿病の原因を理解する。 ・直面問題のはたらきについて理解する。	・食事の前後での血糖濃度とインスリン濃度の変化のグラフから、血糖濃度とインスリンのはたらきとの関係に気づき、説明することができる。 ・食事の前後でのグルカゴンの血液中の濃度がどのように変化するのかを考え、説明することができる。 ・血糖濃度とインスリン濃度の変化の1日のグラフを見て、健康な人と糖尿病患者の

			<p>血糖濃度やインスリン濃度の変化の違いについて考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I型糖尿病とII型糖尿病の違いに基づいて、糖尿病の検査内容や治療方法について、自ら調べたり、考えたりすることができる。</li> </ul>	
1	7	第3節 免疫のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然免疫・適応免疫のしくみと、それにはたらく細胞の役割を理解する。</li> <li>・免疫記憶のしくみを理解する。</li> <li>・免疫のはたらきが低下したり過敏になったりすることで起こる病気や、免疫のしくみを利用した医療について理解する。</li> <li>・観察①「食作用の觀察」(p.136)を行い、生体内で血球が異物を取りこむようすを観察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗原が体内に侵入したときの、抗体の産生量の変化を示したグラフから、同じ感染症に再びかかりにくくなる理由を考えることができる。</li> <li>・抗原を接種したとき、その抗原に対する抗体量の変化を推測したり、グラフで示したりすることができる。</li> <li>・同じ動物種でつくられた血清を用いた血清療法において、2回目以降にアナフィラキシーショックが起こる可能性がある理由を考えることができる。</li> <li>・免疫の学習内容をもとに、未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察し、自分の考えを説明することができる。</li> </ul>
2	8 9	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな植生とその特徴を理解する。</li> <li>・植生の遷移の過程と、遷移が進行する要因について理解する。</li> <li>・調査①「身近な植生の調査」(p.158)を行い、身近な植生にはどのような特徴をもつものがあるのかを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遷移の過程を示した資料をもとに、遷移の過程で裸地から低木林に移り変わる要因、植生の樹種が交代する要因について考察し、説明できる。</li> <li>・植生調査の結果のグラフから、遷移の進行と植物種の変化の関係について考察することができる。</li> <li>・森林内にギャップができたとき、森林内の環境や植生にどのような変化が起こるのかを考え、説明することができる。</li> <li>・二次遷移が一次遷移に比べて速く進行する理由を考え、説明することができる。</li> </ul>
2	9	第2節 植生の分布とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界および日本に見られるさまざまなバイオームが、気温と降水量の違いに起因して成立していることを理解する。</li> <li>・日本に分布するバイオームについて理解する。</li> <li>・実験④「身近な黒葉樹と夏緑樹の葉の比較」(p.177)を行い、黒葉樹と夏緑樹の葉の違いを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴルの草原とモロッコの砂漠の写真を見て、これらの場所が長い年月を経てどのように変化するかを推測することができる。</li> <li>・地球の気温が上昇すると、バイオームの垂直分布がどのように変化するかを推測することができる。</li> <li>・特定の場所の植生が、時間の経過とともにどのように変化するかを推測し、説明することができる。</li> </ul>
2	9	第3節 生物の多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系がどのように構成されているのかを理解する。</li> <li>・生態系において多様性が維持されるしくみを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系における個体数の変化を調べた実験結果に基づき、ある生物が種多様性に対して果たす役割を考察し、説明できる。</li> </ul>

		・調査②「土壌中の生物の調査」(p. 184~185)を行い、身近な土壌に生息している生物の種類を確かめる。		
2	10	第4節 生態系のバラン スと保 全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系のバランスが保たれているとはどのような状態かを理解する。</li> <li>・生態系の保全のために、どのような活動が行われているかを理解する。</li> <li>・調査③「簡易水質調査キットを用いた水質調査」(p. 197)を行い、身近な河川や湖沼の水質を調べる。</li> <li>・実習④「大規模な開発について考え方」(p. 208)を行い、開発が生態系に及ぼす影響について話し合い、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活排水の流入による生物の個体数と水質の変化のグラフをもとに、自然浄化のしくみを考察し、説明できる。</li> <li>・外来生物の移入前後の在来魚の捕獲量の変化を示した資料をもとに、外来生物が在来魚に与えた影響を考察し、説明できる。</li> <li>・スリランカに生息するアジアゾウの例をもとに、人がどのように自然とともに生きていくべきかについて、自分の考えを述べ、話し合うことができる。</li> </ul>

## 5. 教科担当者より

- ・様々な自然現象に興味を持ち、その理由や原因について考える態度を持つこと。
  - ・疑問を持ったことを確かめてみる態度を持つこと。
  - ・生物は暗記科目ではなく、与えられたデータや情報から考えられることを答える問題も多い。内容をよく読み、自分の力で考える習慣を普段から身につけていくことが大切である。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
理科	生物基礎	2	必履修	R5・2	全HR (理系生物選択者を除く)
使用教科書	高等学校 生物基礎(教研出版)				
副教材	生物基礎 研究ノート(博洋社)、 リードLight 生物基礎(教研出版) : 文系のみ				

## 1. 科目の目標

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
生物や生物現象に関わり、科学的に探究するために必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。	生物や生物現象を、理科の見方・考え方を働きさせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

## 2. 学習方法

- 暗記するだけでなく、生物現象を図式化したりすることでイメージして説明することで理解を深める。
- ノートは板書を写すだけでなく、口頭の説明や気づきなども書き加えると、学習への広がりが生まれる。
- 実験・観察は積極的に取り組むと技能が身につく。レポートは結果だけでなく、授業内容や調べたことを加えると考察の力がつく。また、説明や注意はよく聞き、安全に十分注意して行う。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象について、知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得を図る。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を育成する。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を身につける過程において、粘り強く学習に取り組む力、自ら学習を調整しようとする力を養う。

## 4. 単元の学習計画(単元ごとの評価規準)

学 期	月	単元(学習 内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む姿勢
1	4	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物が「細胞からできている」、「生命活動にはエネルギーが必要」、「遺伝情報をとしてDNAをもっている」などの共通性をもつことを理解する。</li> <li>・生物のもつ共通性は共通の祖先に由来することを理解する。</li> <li>・観察①「さまざまな細胞の観察」(p. 33)を行い、さまざまな生物に、細胞からできているという共通性が見られることを確かめる。</li> <li>・観察②「原核細胞の観察」(p. 38)を行い、原核細胞と真核細胞の違いを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな哺乳類の比較に基づいて、生物が生息環境に適した形態や機能をもっていることに気づき、説明できる。</li> <li>・哺乳類以外の生物について、環境に適した形態や機能をもっていることに気づき、説明できる。</li> <li>・さまざまな生物の比較に基づいて、すべての生物に見られる特徴について考え、共通性を見いだすことができる。</li> <li>・原核細胞と真核細胞の共通点と相違点を見いだすことができる。</li> <li>・進化の過程において、真核細胞と原核細胞のどちらが先に現れたのか、理由とともに説明することができる。</li> <li>・さまざまな生物の共通点と相違点を進化の観点に基づいて調べ、説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の多様性と共通性に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
1	5	第2節 エネルギーと代謝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸・光合成の過程でATPが合成されることを理解する。</li> <li>・酵素の触媒作用と基質特異性について理解する。</li> <li>・生体内の化学反応が、酵素のはたらきによって進行することを理解する。</li> <li>・実験①「カタラーゼのはたらき」(p. 58)を行い、酵素のはたらきを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物や植物のエネルギーの獲得方法を参考にしながら、菌類や細菌がどのようにエネルギーを獲得しているかを調べ、説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸と光合成に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
1	6	第2章 遺伝子とそ のはたらき 第1節 遺伝情報と DNA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの構造および塩基の相補性を理解する。</li> <li>・DNAの塩基配列が遺伝情報をもつことを理解する。</li> <li>・実験②「DNAの抽出」(p. 65)を行い、生物がDNAをもつことを確かめる。</li> <li>・実習③「DNA模型の作製」(p. 69)を行い、DNAの立体構造や、塩基配列にさまざまなパターンが生じることを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの構造を示した模式図に基づいて、塩基の相補性などのDNAの構造の特徴を見いだすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報とDNAに 관심をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
6	7	第2節 遺伝情報の 複製と分配	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAが半保存的複製という方法によって正確に複製されることを理解する。</li> <li>・細胞周期の進行に伴って、DNAが複製され、分配されることを理解する。</li> <li>・観察③「体細胞分裂の観察」(p. 80)を行い、細胞分裂によって染色体が分配されていることを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複製前のDNAの模式図を比較し、DNAの正確な複製には塩基の相補性が利用されていることに気づき、説明できる。</li> <li>・細胞当たりのDNA量と細胞数の関係のグラフから、特定の条件で細胞周期の各期の長さを推定できることに気づくことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報の複製と分配に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>

	7 8	第3節 遺伝情報の発現	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される、転写・翻訳の過程を理解する。</li> <li>分化した細胞では、細胞ごとに異なる遺伝子が発現していることを理解する。</li> <li>実験③「DNA模型を使った転写と翻訳の理解」(p. 91)を行い、転写と翻訳について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの塩基配列と対応するタンパク質のアミノ酸配列を示した資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだすことができる。</li> <li>コドンが塩基3個の配列で20個のアミノ酸を指定している理由について考え、説明することができる。</li> <li>特定の塩基配列からなる人工RNAを用いた実験結果をもとに考え、コドンが指定するアミノ酸を推定することができる。</li> <li>分化した細胞と遺伝子発現に関する資料に基づいて考え、からだを構成する細胞において、すべての遺伝子が常に発現しているわけではないことに気づき、各部位で発現する遺伝子の違いによって各細胞が異なる形やたらきをもっていることを見いだすことができる。</li> <li>ヒトゲノム計画の概要やその意義について調べ、レポートにまとめて説明することができる。</li> <li>さまざまな生物とその遺伝子数を調べ、その生物の特徴と遺伝子数の関係についての自分の考えをまとめ、説明することができる。</li> </ul>	・遺伝情報の発現に興味をもち、主体的に学習に取り組める。
2	9	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内での情報伝達が、からだの状態の調節に携わしていることを理解する。</li> <li>自律神経系と内分泌系が、からだを調節するしくみを理解する。</li> <li>実験③「運動によるからだの状態の変化」(p. 109)を行い、運動をしたときに生じるからだの状態の変化がなぜ起こるのかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験③「運動によるからだの状態の変化」(p. 109)で見られた運動の前後での心臓の拍動の変化において、交感神経や副交感神経がそれぞれどのようにはたらいていたかを考える。</li> <li>チロキシンを例に、フィードバックがはたらかなくなった場合、どのようなことが起こるかを考え、説明することができる。</li> <li>身近な事例において、からだの状態がどのように変化するかを自律神経のはたらきに注目して考え、説明することができる。</li> </ul>	・体内での情報伝達と調節に興味をもち、主体的に学習に取り組める。
2	9 10	第2節 体内環境の維持のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自律神経系と内分泌系のはたらきによって血糖濃度が調節されるしくみを理解する。</li> <li>糖尿病の原因を理解する。</li> <li>直波面図のはたらきについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事の直後の血糖濃度とインスリン濃度の変化のグラフから、血糖濃度とインスリンのはたらきとの関係に気づき、説明することができる。</li> <li>食事の直後のグルカゴンの血液中の濃度がどのように変化するのかを考え、説明することができる。</li> <li>血糖濃度とインスリン濃度の変化の1日のグラフを見て、健康な人と糖尿病患者の血糖濃度やインスリン濃度の変化の違いについて考察することができる。</li> </ul>	・体内環境の維持のしくみに興味をもち、主体的に学習に取り組める。

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅰ型糖尿病とⅡ型糖尿病の違いに基づいて、糖尿病の検査や治療法について、自ら調べたり、考えたりすることができる。</li> </ul>	
2	10	第3節 免疫のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然免疫・適応免疫のしくみと、それはたらく細胞の役割を理解する。</li> <li>・免疫記憶のしくみを理解する。</li> <li>・免疫のはたらきが低下したり過敏になつたりすることで起こる病気や、免疫のしくみを利用した医療について理解する。</li> <li>・観察④「食作用の観察」(p.136)を行い、生体内で血球が異物を取りこむようすを観察する。</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗原が体内に侵入したときの、抗体の産生量の変化を示したグラフから、同じ感染症に再びかかりにくくなる理由を考えることができる。</li> <li>・抗原を接種したとき、その抗原に対する抗体量の変化を推測したり、グラフで示したりすることができる。</li> <li>・同じ動物種でつくられた血清を用いた血清療法において、2回目以降にアナフィラキシーショックが起こる可能性がある理由を考えることができる。</li> <li>・免疫の学習内容をもとに、未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察し、自分の考えを説明することができる。</li> </ul>
2	11	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな植生とその特徴を理解する。</li> <li>・植生の遷移の過程と、遷移が逆行する要因について理解する。</li> <li>・調査①「身近な植生の調査」(p.158)を行い、身近な植生にはどのような特徴をもつものがあるのかを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遷移の過程を示した資料をもとに、遷移の過程で裸地から低木林に移り変わる要因、植生の種類が交代する要因について考察し、説明できる。</li> <li>・植生調査の結果のグラフから、遷移の進行と植物種の変化の関係について考察することができる。</li> <li>・森林内にギャップができたとき、森林内の環境や植生にどのような変化が起こるのかを考え、説明することができる。</li> <li>・二次遷移が一次遷移に比べて速く進行する理由を考え、説明することができる。</li> </ul>
2	11 12	第2節 植生の分布とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界および日本に見られるさまざまなバイオームが、気温と降水量の違いに起因して成立していることを理解する。</li> <li>・日本に分布するバイオームについて理解する。</li> <li>・実験④「身近な照葉樹と夏緑樹の葉の比較」(p.177)を行い、照葉樹と夏緑樹の葉の違いを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴルの草原とモロッコの砂漠の写真を見て、これらの場所が長い年月を経てどのように変化するかを推測することができる。</li> <li>・地球の気温が上昇すると、バイオームの垂直分布がどのように変化するかを推測することができる。</li> <li>・特定の場所の植生が、時間の経過とともにどのように変化するかを推測し、説明することができる。</li> </ul>
3	1 2	第3節 生態系と生物の多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系がどのように構成されているのかを理解する。</li> <li>・生態系において種多様性が維持されるしくみを理解する。</li> <li>・調査②「土壤中の生物の調査」(p.184~185)を行い、身近な土壤に生息している生物の種類を確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系における個体数の変化を調べた実験結果に基づき、ある生物が種多様性に対して果たす役割を考察し、説明できる。</li> </ul>

3	2	第4節	・生態系のバランスが保たれているとはどのような状態かを理解する。	・生活排水の流入による生物の個体数と水質の変化のグラフをもとに、自然浄化のしくみを考察し、説明できる。
	3	生態系のバランスと保全	・生態系の保全のために、どのような活動が行われているかを理解する。 ・調査①「簡易水質調査キットを用いた水質調査」(p. 197)を行い、身近な河川や湖沼の水質を調べる。 ・実習④「大規模な開発について考えよう」(p. 208)を行い、開発が生態系に及ぼす影響について話し合い、理解を深める。	・外来生物の移入前後の在来魚の漁獲量の変化を示した資料をもとに、外来生物が在来魚に与えた影響を考察し、説明できる。 ・スリランカに生息するアジアゾウの例とともに、人間がどのように自然とともに生きていくべきかについて、自分の考えを述べ、話し合うことができる。

## 5. 教科担当者より

- ・様々な自然現象に興味を持ち、その理由や原因について考える態度を持つこと。
- ・疑問を持ったことを確かめてみる態度を持つこと。
- ・生物は暗記科目ではなく、与えられたデータや情報から考えられることを答える問題も多い。内容をよく読み、自分の力で考える習慣を普段から身につけていくことが大切である。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
理科	生物	3	選択履修	R5・2	理系・生物選択
使用教科書	高等学校 生物 (数研出版)				
副教材	新課程フォトサイエンス 生物図録(数研出版)、生物研究ノート(博洋社)、2023 新課程版セミナー生物基礎+生物(第一学習社)				

### 1. 科目の目標

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
生物や生物現象に関わり、科学的に探究するために必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。	生物や生物現象を、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

### 2. 学習方法

- 授業で学習するさまざまな現象を、身近な事柄に結びつけて理解できるとさらに理解が進みます。
- ノートは、板書をそのまま写すだけでなく、色分けなど自分なりに分かりやすく工夫しましょう。
- 疑問に感じた点や追求したい事柄をメモに残しましょう。
- 実験には関心・意欲を持って取り組み、実験の技能を身につけましょう。安全には十分留意しましょう。
- 問題集を積極的に解いて学習内容の定着を図りましょう。特に定期考査前には必ず問題集を解きましょう。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象について、知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得を図る。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを育成する。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組む力、自ら学習を調整しようとする力を養う。

## 4. 単元の学習計画(単元ごとの評価規準)

学 期	月	単元(学習内 容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取 り組む姿勢
2	10	第1節 生命の起源 と生物の進 化	・生命の起源について、化学進化を経て生命が誕生したことを理解する。 ・細胞の進化によって地球環境が変化したり、地球環境の変化が進化に影響したりしてきたことを理解する。	・学習したこととともに、最初の生物が地上ではなく海洋中で誕生した理由について考え、説明することができる。	・生命の起源と生物の進化に関心をもち、主体的に学習に取り組める。
2	10	第2節 遺伝子の変 化と多様性	・生物の形質の変化が、突然変異によつて生じることを理解する。 ・突然変異が遺伝的な多様性をもたらすことを理解する。	・遺伝子の変化と形質の変化を示した資料を比較し、遺伝子が変化すると、遺伝子をもとにつくられるタンパク質が変化し、その結果形質が変化することを見いだすことができる。	・遺伝子の変化と多様性に関心をもち、主体的に学習に取り組める。
2	10	第3節 遺伝子の組 み合わせの 変化	・有性生殖では、減数分裂・受精を経て遺伝子の組み合わせが変化することを理解する。 ・減数分裂の過程で、染色体の重新組合により遺伝子の組換えが起こることを理解する。 ・連鎖と組換えのしくみを理解する。 ・性染色体について理解する。 ・実験①「減数分裂の観察」(p. 32)を行い、減数分裂の過程を確かめる。	・無性生殖の場合、親と子で遺伝子の組み合わせがどうなるのかを考え、説明することができる。 ・ショウジョウバエの交配実験の結果を示した資料に基づいて、遺伝子の組み合わせが変化し多様化していることを見いだすことができる。	・遺伝子の組み合 わせの変化に関心をもち、主体的に学習に取り組める。
2	11	第4節 進化のしく み	・自然選択と遺伝的浮動によって遺伝子頻度が変化することを理解する。 ・隔離を経て種分化が生じることを理解する。 ・実験①「遺伝子頻度の変化シミュレー ーション」(p. 44)を行い、遺伝子頻度が変化する要因を考える。	・異なる種の親から子が生まれることはあ るが、その子からは子が生まれない理由を考 え、説明することができる。 ・疊状赤血球貧血症とマラリアの発生に關 連がある理由について考え、説明するこ とができる。	・進化のしくみに 関心をもち、主体 的に学習に取り組 める。
2	11	第5節 生物の系統 と進化	・塩基配列やアミノ酸配列によって、生 物の系統を推定できることを理解する。 ・ドメイン、界、門などの分類群につい て理解する。	・あるタンパク質のアミノ酸配列を複数種 の生物で比較した資料に基づいて、アミノ 酸配列の差異をもとに生物の系統が推定で きることを見いだすことができる。	・生物の系統と進 化に関心をもち、 主体的に学習に取 り組める。
2	11 12	第6節 人類の系統 と進化	・人類の系統を理解する。 ・人類は直立二足歩行を行うという点で 他の生物とは異なることを理解する。 ・実験①「猿人猿とヒトの姿勢と直立二 足歩行」(p. 78)を行い、直立二足歩行の 特徴を確かめる。	・7種類の靈長類について、線粒DNAの熱 安定性に関するデータをもとに系統を推定し、さ らに分岐年代を確定することができる。 ・直立二足歩行を行うことのデメリットにつ いて考えたり調べたりしてまとめ、説明 することができる。	・人類の系統と進 化に関心をもち、 主体的に学習に取 り組める。
2	12	第7節 生体物質と 細胞	・細胞を構成する代表的な物質とその特 徴について理解する。 ・生物の基本単位である細胞の構造とそ の機能について理解する。	・ミトコンドリアや葉緑体が、核とは別の 独自のDNAをもっている理由を考え、説明 することができる。	・生体物質と細胞 に関心をもち、主 体的に学習に取 り組める。

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体膜において、リン脂質分子がどのように配置されているかを、リン脂質分子の構造をもとに考えることができる。</li> </ul>	
3	1	第2節 タンパク質 の構造と性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞の生命活動を担うタンパク質の構造について理解する。</li> <li>・タンパク質の構造と機能との関係について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タンパク質の立体構造が、タンパク質の機能と密接に関係していることを理解し、説明することができる。</li> </ul>
3	1	第3節 化学反応に かかるタ ンパク質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酵素の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。</li> <li>・酵素反応を調節するしくみについて理解する。</li> <li>・実験②「カタラーゼのはたらき」(p. 104)を行い、熱による酵素の機能の変化を確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酵素の活性を阻害する薬について、文献やインターネットを用いて調べることができる。</li> <li>・化学反応にかかるタンパク質に 관심をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
3	1	第4節 膜輸送や情 報伝達にか かるタン パク質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体膜を介した物質輸送と、それにかかるタンパク質のはたらきについて理解する。</li> <li>・情報伝達にかかる受容体タンパク質のはたらきについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尿崩症の原因を、脳髄の細胞におけるアグアボリンの存在と関連づけて考えることができる。また、尿崩症の治療法について考え、説明することができる。</li> <li>・情報伝達物質を介した細胞間の情報伝達がうまくいかない場合の原因について、これまでに学習した生命現象を例にあげて説明することができる。</li> </ul>
3	2	第1節 代謝とエネ ルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体内で起こる化学反応の一類は酸化還元反応であり、反応に際して大きなエネルギーの出入りを伴うことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体内的化学反応のうち、酸化還元反応を伴う反応では、大きなエネルギーの出入りが起こることを理解し、説明することができる。</li> <li>・代謝とエネルギーに关心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
3	2	第2節 呼吸と発酵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸では有機物が酸化され、その際に取り出されたエネルギーを用いてATPが合成されることを理解する。</li> <li>・発酵では酵素を用いて有機物が分解され、ATPが合成されることを理解する。</li> <li>・実験③「細胞内ではたらく酵素による酸化還元反応」(p. 130)を行い、基質(コハク酸)から電子が取り出されていることをメチレンブルーの色の変化で確かめる。</li> <li>・実験④「アルコール発酵」(p. 134)を行い、グルコースが分解される反応を観察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸と発酵では、グルコース1分子から得られるATP量に大きな違いがある理由を説明することができる。</li> <li>・呼吸基質と呼吸商の関係を理解し、与えられた呼吸商をもとに、各呼吸基質の分解に使われた酵素の割合を計算することができる。</li> <li>・呼吸と発酵に关心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
3	2	第3節 光合成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光合成では、光エネルギーを用いてATPとNADPHが合成され、これらを用いて二酸化炭素が還元されて有機物が生じることを理解する。</li> <li>・実験⑤「植物の光合成色素の分離」(p. 139)を行い、植物の葉に含まれる光</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光リシン酸化と酸化的リシン酸化の共通点を説明することができる。</li> <li>・光合成において、葉緑体のチラコイド内外のpHの濃度差と、ATP合成速度の関係を調べるために必要な実験を考え、説明することができる。</li> <li>・光合成に关心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>

			合成色素を、薄層クロマトグラフィーで分離して調べる。	・ATP 合成酵素の基本構造が原核生物や真核生物の間で共通している理由について、進化の観点から仮説を立て、説明することができる。	
3	3	第1節 DNAの構造と複製	・DNAの複製のしくみを理解する。	・DNAの複製に関する資料に基づいて、DNAの複製のしくみを見いだすことができる。 ・岡崎フラグメントの存在を示唆する実験データに基づいて、岡崎フラグメントが存在することを論理的に説明することができる。	・DNAの構造と複製に 관심をもち、主体的に学習に取り組める。
3	3	第2節 遺伝情報の発現	・遺伝情報の発現のしくみを理解する。	・真核生物と原核生物の遺伝情報の発現の過程を表した資料を比較し、遺伝子発現の過程の違いを見いだすことができる。 ・DNAの塩基では、ウラシルではなくチミンが用いられている理由を考え、説明することができる。	・遺伝情報の発現に 관심をもち、主体的に学習に取り組める。

## 5. 教科担当者より

- ・授業の教材を準備し、授業が始まるとときには着席を完了して聞いてください。
- ・移動教室の際は、休み時間の間に、余裕を持って移動するよう心掛けてください。
- ・実験は、注意事項をよく聞き、指示に従って事故のないよう安全に十分注意してください。
- ・実験は、実験班で協力して準備・実験・記録・整理整頓を行い、課されたレポートを提出しましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・ID
保健体育	体育	2	必履修	R5・2年	理系コース
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材	アクティブスポーツ（総合版）				

### 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

### 2. 学習方法

（選択制授業）

- ・運動・スポーツの基礎基本や安全について学習し、自分にあった種目を選択して活動をする。
- ・単元の始めに一斉授業で種目の基礎基本やルールについて学び、その後、グループ学習で主体的・積極的な態度で活動に参加し、仲間と協力をしながら工夫して技能の向上を目指して活動する。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
体 つ くり	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。</li> </ul> <p>※「体づくり運動」の体ほぐし運動は、技能の習得・向上をねらいとするものではないこと、実生活に活かす運動の計画は、運動の計画を立てることが主な目的となることから、「技能」の評価基準は設定しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくりの運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>
器 械 運 動	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。</li> <li>・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器械運動に主体的に取り組むとともに、良い演技を讃えようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>
陸 上 競 技	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズミカルに超すことができる。</li> <li>・やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすこと、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>

球技	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。</li> <li>・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</li> <li>・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫とともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしていること、合意形成に貢献しようとしていること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしていること、互いに助け合い高め合おうとするなどを作ることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>
武道	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしきけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫とともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしていること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしていること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしているなどを作ることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>
ダンス	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫とともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとしていること、合意形成に貢献しようとしていること、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとしていることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>

体育理論	(1) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ○知識 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから「技能」の評価基準は設定していない。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を見出し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学修に主体的に取り組もうとしている。
	(2) 豊かなスポーツライフの設計の仕方 ○知識 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから「技能」の評価基準は設定していない。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を見出し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。

## 5. 学習内容

学期	月	学習内容	学習の活動・ねらい	ICT 利活用
1 学期	4 月	オリエンテーション 体つくり運動 体育理論 新体力テスト	・1年間の流れを知り、体育授業における決まりや評価の規準について理解する。 ・自分の体力要素について課題を知り、目標と計画を立てる。	
	5 月	選択1 陸上・器械運動・ダンス	○オリエンテーション ・授業のねらいや活動内容を知る ・授業の流れを知る	○タブレット PC を活用する。 ・手本となる動きと自分の動きとの比較を行い、課題を見つけて解決する。
	6 月	選択2 ソフトボール バレー・ボーラー ソフトテニス 卓球	・個人・グループ活動における取り組み方を学ぶ (活動)	・自分の動作・表現を

	7月		一斉指導 ○基本技能を習得する ・用具の準備・片付け ・準備運動 ・基礎体力の向上 ・技能の向上 ・ルールの理解  グループ活動 ○練習やゲームを楽しむ ・用具の準備・片付け ・準備運動 ・チームスキルの向上 ・個人及びチームの戦術の向上 ・活動に対する課題意識 ・課題解決への取り組み	確認する ・試合の様子をみて、どのように動かないといけないかを確認する。
2学 期	9月	体つくり運動 体育理論 選択2 (1学期より推進して中間考査まで実施)	○タブレットPC・電子黒板を利用する。 ・シートフォームや動きの確認をおこなう。	
	10月	選択3 バスケットボール サッカー ソフトテニス バドミントン 剣道		
	11月			
	12月			
	1月	選択4 バスケットボール サッカー ソフトテニス バドミントン	○タブレットPC・電子黒板を利用する。 ・試合の様子をみてイメージをつくる。	
	2月			
	3月			

## 6. 教科担当者より

- ・受け身の態度で授業に参加することなく、自ら積極的に活動することを求める。
- ・種目の特性を存分に味わい、楽しさを経験し、その楽しさを仲間と共有して、生涯スポーツへつなげて欲しい。
- ・時間を守ることや元気な挨拶、体操服の着こなしなどの授業の約束事を守り、スポーツマンシップや社会性を養ってくれることを期待する。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・団体
保健体育	体育	3	必履修	R5・2年	文系コース
使用教科書	現代高等保健体育（大衆図書店）				
副教材	アクティブスポーツ（総合版）				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようとするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

## 2. 学習方法

〈選択制授業〉
・運動・スポーツの基礎基本や安全について学習し、自分にあった種目を選択して活動をする。
・単元の始めに一斉授業で種目の基礎基本やルールについて学び、その後、グループ学習で主体的・積極的な態度で活動に参加し、仲間と協力をしながら工夫して技能の向上を目指して活動する。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身についている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
体 つ くり	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。</li> </ul> <p>※「体づくり運動」の体ほぐし運動は、技能の習得・向上をねらいとするものではないこと、実生活に活かす運動の計画は、運動の計画を立てることが主な目的となることから、「技能」の評価基準は設定しない。</p>	<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・体づくりの運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>
器 械 運 動	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。</li> <li>・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。</li> </ul>	<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・器械運動に主体的に取り組むとともに、良い演技を讚えようとすること、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>
陸 上 競 技	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズミカルに超すことができる。</li> <li>・やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げることができる。</li> </ul>	<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・陸上に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすこと、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>

球技	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。</li> <li>・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</li> <li>・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防することができる。</li> </ul>	<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫とともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>
武道	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしきけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。</li> </ul>	<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫とともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>
ダンス	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。</li> </ul>	<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫とともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>

体育理論	(1) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ○知識 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから「技能」の評価基準は設定していない。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学修に主体的に取り組もうとしている。
	(2) 豊かなスポーツライフの設計の仕方 ○知識 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから「技能」の評価基準は設定していない。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。

## 5. 学習内容

学期	月	学習内容	学習の活動・ねらい	ICT 利活用
1 学期	4 月	オリエンテーション 体づくり運動 体育理論 新体力テスト	・1年間の流れを知り、体育授業における決まりや評価の規準について理解する。 ・自分の体力要素について課題を知り、目標と計画を立てる。	
	5 月	選択 1 陸上・器械運動・ダンス	○オリエンテーション ・授業のねらいや活動内容を知る ・授業の流れを知る	○タブレット PC を活用する。 ・手本となる動きと自分の動きとの比較を行い、課題を見つけて解決する。
	6 月	選択 2 ソフトボール バレー・ボール ソフトテニス 卓球	・個人・グループ活動における取り組み方を学ぶ (活動)	・自分の動作・表現を

	7 月		一斉指導 ○基本技能を習得する ・用具の準備・片付け ・準備運動 ・基礎体力の向上 ・技能の向上 ・ルールの理解  グループ活動 ○練習やゲームを楽しむ ・用具の準備・片付け ・準備運動 ・チームスキルの向上 ・個人及びチームの戦術の向上 ・活動に対する課題意識 ・課題解決への取り組み	確認する ・試合の様子をみて、どのように動かないといけないかを確認する。  ○タブレット PC・電子黒板を利用する。 ・シートフォームや動きの確認をおこなう。
2 学 期	9 月	体つくり運動 体育理論 選択 2 (1学期より継続して中間考査まで実施)		
	10 月	選択 3 バスケットボール サッカー ソフトテニス		
	11 月	バドミントン		
	12 月	剣道		
	1 月	選択 4 バスケットボール サッカー ソフトテニス		
	2 月	バドミントン		
3 学 期	3 月			○タブレット PC・電子黒板を利用する。 ・試合の様子をみてイメージをつくる。

## 6. 教科担当者より

- 受け身の態度で授業に参加することなく、自ら積極的に活動することを求める。
- 種目の特性を存分に味わい、楽しさを経験し、その楽しさを仲間と共有して、生涯スポーツへつなげて欲しい。
- 時間を守ることや元気な挨拶、体操服の着こなしなどの授業の約束事を守り、スポーツマンシップや社会性を養ってくれることを期待する。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
保健体育	保健	1	必履修	R5・2	全HR
使用教科書	現代高等保健体育				
副教材	現代高等保健体育ノート				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようとする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

## 2. 学習方法

- 教科書にある図やグラフの解説、または内容に関連する動画等をICT利活用により視覚的に分かりやすく提示し、学習に対する理解を深める。
- 教科書の内容に応じてノートに内容を整理させたり、パワーポイント等で作成された資料を用いて適切な重要語句等を記入させたりすることで、内容の理解や重要語句との関連性を理解させる。
- グループワーク等を通して課題発見や課題解決に対して主体性をもつことで実践力を身につけさせる。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけていく。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	①オリエンテーション 生涯を通じる健康 ②ライフステージと 健康 ③思春期と健康 ④性意識と性行動の 選択	・思春期における心身の 発達や性的成熟に伴う 身体面、心理面、行動面 などの変化に関わり、健 康課題が生じることが あることについて、理 解したことを言ったり書 いたりしている。 ・思春期の心身の変化に 対応して、自分の行動へ の責任感や異性を理 解したり尊重したりする 態度が必要であること、 及び性に関する情報等	・生涯の各段階における 健康について、健康に關 わる原則や概念を基に整 理したり、個人及び社会 生活と関連付けたりして、 自他や社会の課題を 発見している。 ・思春期と健康について、 習得した知識を基に、心 身の発達や性的成熟に伴 う健康課題を解決するた めに、性に關わる情報を 適切に整理している。 ・結婚生活と健康につい	生涯の各段階における 健康について、課 題の解決に向けた学 習に主体的に取り組 もうとしている。

1 学 期	5 月	4 妊娠・出産と健康 5 妊娠法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康	への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	て、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。</li> <li>・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul>
	6 月	7 中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・高齢社会では、認知症を含む疾患等への対処、</li> </ul>	

7 月  1 学 期	<p>8 働くことと健康</p> <p>9 労働災害と健康</p> <p>10 健康的な職業生活</p>	<p>事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを書いたり書いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを書いたり書いたりしている。</li> <li>労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを書いたり書いたりしている。</li> <li>働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを書いたり書いたりしている。</li> <li>働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、理解したことを書いたり書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働と健康について、健康に関する原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。</li> <li>働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。</li> <li>労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。</li> <li>労働と健康について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul>	<p>労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
---------------------------	--	---	--	--

2 学 期	9 月	健康を支える環境づくり		
		1 大気汚染と健康	・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壤汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。
		2 水質汚濁、土壤汚染と健康	・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出ができるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。
	10 月	3 環境と健康にかかる対策	・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。
	11 月	4 ごみの処理と上下水道の整備	・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	
	12 月	5 食品の安全性	・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要なことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。
		6 食品衛生にかかる	・食品の安全性を確保す	・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

3 学 期	1 月	<p>る活動</p> <p>・食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>るために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	
		<p>7保健サービスとの活用</p> <p>・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>		<p>・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p>	<p>保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
		<p>8医療サービスとの活用</p> <p>・健康を保持増進するためには、検診などを通じて自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>		<p>・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	
		<p>9医療品の制度との活用</p> <p>・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解した</p>		<p>・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。</p>	

2 月		<p>ことを言ったり書いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul>	
3 学 期	10 さまざまな保健活動や社会対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul>	<p>・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。</li> <li>・様々な保健活動や社会的対策について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <p>様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

3 学 期	2 月	1.1 健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを書いたりしている。</li> <li>・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた人々の健康の保持増進につながることについて、理解したことを書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関する原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。</li> <li>・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul>	健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	3 月	○1年間のまとめ	1年間を振り返って、健康や環境などの日常生活の中に見つけた課題を書いたりして、理解したことを実生活の中に取り入れようとすることができる。	1年間を通して健康や環境についての課題を実生活の中でどのように取り組むのか話し合ったり、自分の意見を説明したりすることができる。	健康や環境について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

## 5. 教科担当者より

- ・各ライフステージの健康課題を明確にし、学習した知識に基づいた行動を実生活へ取り入れてほしい。
- ・各単元における健康や環境にかかわる課題を仲間と共有しながら、互いの思考を伝え合い、必要性と妥当性について理解を深めてほしい。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
理科	音楽Ⅱ	1	選択履修	R5・2	文系
使用教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)				
副教材	なし				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的な背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようとする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 2. 学習方法

- 基本的に教科書を中心に授業を進めていきます。必要に応じて授業で使用する楽譜等はこちらで準備します。
- 歌唱活動やアンサンブル活動は、パートまたはグループなどをその都度編成し、取り組みます。
- DVDやCDなどを活用し、多角的に音楽をとらえながら理解を深めていきます。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的な背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。</li> <li>創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</li> </ul>	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	日本の歌曲に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱について、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱活動において音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
	5 月	コードネームについて学び、ギターに挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、知識技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	

	6月		・様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。	ことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	
	7月				
2学 期	9月		・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに創作表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	10月				
	11月				
	12月	世界のポップス	・我が国や世界各国のポップス音楽の種類と特徴について理解を深めている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3学 期	1月	作曲家のエピソードを知ってクラシック音楽に親しみをもとう	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	・主体的・協働的に調べ学習及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	2月				
	3月	様々なジャンルの歌唱に取り組もう	・歌唱について、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。	・歌唱活動において音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

## 5. 教科担当者より

- ・教科書・筆記用具は毎時間必ず準備をし、忘れ物がないようにしましょう。
- ・授業では、さまざまな題材や楽器を取り入れ、多彩な活動をします。積極的に取り組みましょう。
- ・音楽室には授業で使用する楽器がたくさんあります。丁寧に扱い、後片付けをきちんとしましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
理科	美術Ⅱ	1	選択履修	R5・2	文系
使用教科書	高校生の美術2（日本文芸社）				
副教材	なし				

### 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようとする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

### 2. 学習方法

作品制作学習。各自の作業進度に差があるので、早くできた生徒には、その課題をより深めるための課題を準備。学校行事等の関係で学習項目が入れ替わることあり。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

### 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	校内を切り取ろう	・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	・主題に応じた表現様式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に絵画の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	5 月				
	6 月	本の表紙のデザイン	・本の表紙のデザインについて、主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	・目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成している。 ・社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創	・主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	7 月				

			造的な表現の構想を練っている。	
2 学 期	9 月	読書感想画	・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	・自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成している。
	10 月		・プロダクトデザインについて、造形の要素の働きを理解している。	・目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成している。
	11 月	プロペラのデザ イン	・プロダクトデザインについて、造形の要素の働きを理解している。	・主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	12 月		・抽象彫刻について、造形の要素の働きを理解している。	・主体的に彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
3 学 期	1 月	抽象彫刻	・抽象彫刻について、主題に応じて表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	2 月		・抽象彫刻について、造形の要素の働きを理解している。	
	3 月		・抽象彫刻について、造形的特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	

## 5. 教科担当者より

## ◎美術の授業について

- ・高校美術は必ずしも作品づくりばかりではありません。ものを見るための感性をのばし、自分自身の力で深く物事を観察する力を育むために、美術の歴史、技法の学習、鑑賞の方法まで幅広く活動します。

## ◎美術学習の留意点

- ・「へた」「じょうず」に関係なく、丁寧に最後まで仕上げた方がいい作品になります。
- ・チャイムが鳴る前に授業の準備をしましょう。
- ・道具は作品の命です。大切に扱いましょう。
- ・作品は授業中に完成させるように真剣に取り組みましょう。
- ・完成した作品はあなたの大切な分身です。自宅に持ち帰り飾るなどして鑑賞しましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
理科	書道Ⅱ	1	選択履修	R5・2	文系
使用教科書	書Ⅱ				
副教材	なし				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書伸びを味わい深くとらえたりすることができるようとする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

## 2. 学習方法

- ①古典や古筆に関する知識事項の理解(講義)  
 ②臨書学習や創作活動による技法の習得(実技)

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。</li> <li>書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。</li> </ul>

## 4. 単元の学習計画(単元ごとの評価規準)

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 月	○漢字の書 「篆書」 学習古典・「甲骨文」「金文」「石鼓文」「泰山刻石」	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けています。</li> <li>書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。</li> <li>作品の価値とその根柢について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
	5 月	・篆書の臨書と鑑賞 ・篆書による創作と鑑賞			
	6 月	○漢字の書 「隸書」 学習古典・「礼器碑」「曹全碑」 ・隸書の臨書と鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の書を構成する様々な要素について理解している。</li> <li>漢字の書の特質とその歴史について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。</li> <li>作品の価値とその根柢について考え、書のよさや美しさを味わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

	7月		て捉えている。	うとしている。
2学 期	9月	○実用書	・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。
	10月	○漢字の書 「草書」 学習古典・・「十七帖」「書譜」 ・草書の臨書と鑑賞 ・草書による1字創作	・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。	・表現方式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・生活や社会における書の美的効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。
	11月			・主体的に幅広い表現の学習活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育もうとしている。
	12月	・簡易表装		・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3学 期	1月	○漢字仮名交じりの書 ・作品制作 「生きた言葉」を書で表現する	・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。
	2月	・表装 ・鑑賞	・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。	・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。
	3月			・主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育もうとしている。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 5. 教科担当者より

書と人とのかかわりは、長い歴史を経て培われ、それぞれ、その時代にふさわしい書の美を展開し、継承してきました。古人がどのように書に取り組んできたかを探ることによって、私たちも現代にふさわしい、個性あふれる書の表現を見出すことができます。書道Ⅱの学習では、書道Ⅰの学習からさらに踏み込み、日常私たちが使用することのない篆書や隸書、草書などの古い時代の書体にも取り組んでいきます。そのような古典による学習の中で、書の歴史的背景を踏まえ、古奥の持つ魅力を味わいながら説得力のある自己表現の幅をさらに広げてほしいと思います。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	必履修	R5・2	理系
使用教科書	BLUE MARBEL English Communication II (教研出版)				
副教材	システム英単語 5訂版 (駿台文庫) 英語総合問題集 Elixir 3 【三訂版】 Elixir 4 【三訂版】 (啓隆社) 英語速読 10分テスト Rapid Reading 改訂版 Level 2 (美誠社)				

### 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を育成する。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え方などの概要や要点、詳細、話の展開、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあつたりすることができる力を育成する。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

### 2. 学習方法

- (1) 授業では、様々な言語活動の目的を理解し、積極的に英語でのコミュニケーションに取り組む。
- (2) 家庭学習では、授業の復習として音読を行い、重要な表現を定着させ、様々な言語活動の中で使えるようにしていく。
- (3) 英検などの英語外部試験を積極的に活用し、自身の英語力の確認と向上に努める。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識について理解している。</li> <li>・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて自在に活用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え方などの概要や要点、詳細、話の展開、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現して伝え合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	Lesson 1 Leadership in Modern Times	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、現代のリーダーの資質や代表的なリーダーの一例、A.L.にはない人間だけが持つ能力について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代におけるリーダーシップについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容(現代におけるリーダーシップ)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代におけるリーダーシップについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容(現代におけるリーダーシップ)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>
	5 月	Lesson 2 The Diversity of Traditional Houses	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、世界の様々な伝統的な家の背景や利点について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の伝統的な家の多様性について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容(世界の伝統的な家の多様性)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の伝統的な家の多様性について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容(世界の伝統的な家の多様性)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>
	6 月	Lesson 3 Improving Society with Avatar Robots	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、アバターロボットの特徴や問題の過程、社会での役割について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アバターロボットを用いて社会をより良くしていく方法について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容(アバターロボットを用いて社会をより良くしていく方法)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アバターロボットを用いて社会をより良くしていく方法について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容(アバターロボットを用いて社会をより良くしていく方法)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>
1 学期	7 月	Lesson 4 Approaches to Food Waste	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、食品が廃棄される原因やその解消に向けた取り組みについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品の廃棄を減らす取り組みについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容(食品の廃棄を減らす取り組み)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品の廃棄を減らす取り組みについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容(食品の廃棄を減らす取り組み)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>

	Lesson 5 Animals as Indispensable Partners	○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、動物が人間に与える恩恵について書かれた文章を読み取る技能を身に付けています。	○かけがいのないパートナーとしての動物たちについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（かけがいのないパートナー）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○かけがいのないパートナーについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（かけがいのないパートナー）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
2 学期	Lesson 6 An Irish Poet on a Mission	○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、アイルランド人学者の和歌への関心と英訳での困難について書かれた文章を読み取る技能を身に付けています。	○アイルランドの詩について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（アイルランドの詩）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○アイルランドの詩について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（アイルランドの詩）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
	Lesson 7 Be Free From Gender Bias	○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、性別による偏見や性の多様性の広がりについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けています。	○性による偏見の徹底について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（性による偏見の徹底）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○性による偏見の徹底について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（性における性による偏見の徹底）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
	Lesson 8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees	○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のリーダーとして活躍した日本人女性について書かれた文章を読み取る技能を身に付けています。	○難民支援のために尽力した日本人女性について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（難民支援のために尽力した日本人女性）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○難民支援のために尽力した日本人女性について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（難民支援のために尽力した日本人女性）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
	Lesson 9 Tackling Warming	Global	○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、地球温暖化の解決に向けた地球工学や産業工学の実践的な取り組みとその課題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けています。	○地球温暖化への取り組みについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（地球温暖化への取り組み）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。
3 学期				

	Lesson 10 Keys to Finding Happiness	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、幸福に関する研究結果について書かれた文章を読み取る技能を身に付けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幸せを見つける手掛かりについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容（幸せを見つける手掛かり）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幸せを見つける手掛かりについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容（幸せを見つける手掛かり）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>
2月	Optional Lesson 1 The Good, the Bad and the Emmy	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、物語の展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、物語の展開理解を基に、演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容（演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容（演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>
3月	Optional Lesson 2 The Tales of Ise	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、物語の展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、物語の展開理解を基に、伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容（伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容（伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>

## 5. 教科担当者より

外国語によるコミュニケーション能力を育成するために、授業内での様々な言語活動を通して、リスニング・スピーキング（やりとり、発表）・リーディング・ライティングの4技能5分野に渡る英語力を高めていきます。幅広い話題を扱った英文を読みながら、ALTや級友とその話題について自分の意見や考えを共有していきます。授業に参加し学びを深めるには、基本的な単語力と運用できる文法力、それと英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする少しの勇気が必要です。コミュニケーションの場面でたくさん失敗をして、英語を使うことに慣れていくましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
外国語	英語コミュニケーションⅡ	5	必履修	R5・2	文系
使用教科書	BLUE MARBEL English Communication II (教研出版)				
副教材	システム英単語 5訂版 (駿台文庫) 英語総合問題集 Elixir 3 【三訂版】 Elixir 4 【三訂版】 (啓隆社) 英語速読 10 分テスト Rapid Reading 改訂版 Level 2 (美誠社)				

### 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を育成する。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え方などの概要や要点、詳細、話の展開、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を育成する。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

### 2. 学習方法

- (1) 授業では、様々な言語活動の目的を理解し、積極的に英語でのコミュニケーションに取り組む。
- (2) 家庭学習では、授業の復習として音読を行い、重要な表現を定着させ、様々な言語活動の中で使えるようにしていく。
- (3) 英検などの英語外部試験を積極的に活用し、自身の英語力の確認と向上に努める。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識について理解している。</li> <li>・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて自在に活用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え方などの概要や要点、詳細、話の展開、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現して伝え合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学 期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学 期	4 月	Lesson 1 Leadership in Modern Times	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、現代のリーダーの資質や代表的なリーダーの例、A.L.にはない人間だけが持つ能力について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代におけるリーダーシップについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容(現代におけるリーダーシップ)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代におけるリーダーシップについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容(現代におけるリーダーシップ)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>
	5 月	Lesson 2 The Diversity of Traditional Houses	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、世界の様々な伝統的な家庭の背景や利点について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の伝統的な家庭の多様性について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容(世界の伝統的な家庭の多様性)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の伝統的な家庭の多様性について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容(世界の伝統的な家庭の多様性)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>
	6 月	Lesson 3 Improving Society with Avatar Robots	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、アバターロボットの特徴や開発の過程、社会での役割について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アバターロボットを用いて社会をより良くしていく方法について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容(アバターロボットを用いて社会をより良くしていく方法)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アバターロボットを用いて社会をより良くしていく方法について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容(アバターロボットを用いて社会をより良くしていく方法)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>
	7 月	Lesson 4 Approaches to Food Waste	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。</li> <li>○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、食品が廃棄される原因やその解決に向けた取り組みについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品の廃棄を減らす取り組みについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>○各パート本文の内容(食品の廃棄を減らす取り組み)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品の廃棄を減らす取り組みについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>○各パート本文の内容(食品の廃棄を減らす取り組み)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。</li> </ul>

		Lesson 5 Animals as Indispensable Partners	○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料、本文の論理展開を基に、動物が人間に与える恩恵について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	○かけがいのないパートナーとしての動物たちについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（かけがいのないパートナー）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○かけがいのないパートナーについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（かけがいのないパートナー）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
2 学期	9 月	Lesson 6 An Irish Poet on a Mission	○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料、本文の論理展開を基に、アイルランド人学者の和歌への関心と英訳での困難について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	○アイルランドの詩について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（アイルランドの詩）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○アイルランドの詩について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（アイルランドの詩）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
	10 月	Lesson 7 Be Free From Gender Bias	○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料、本文の論理展開を基に、性別による偏見や性的多様性の広がりについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	○性による偏見の徹底について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（性による偏見の徹底）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○性による偏見の徹底について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（性における性による偏見の徹底）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
	11 月	Lesson 8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees	○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料、本文の論理展開を基に国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のリーダーとして活躍した日本人女性について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	○難民支援のために尽力した日本人女性について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（難民支援のために尽力した日本人女性）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○難民支援のために尽力した日本人女性について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（難民支援のために尽力した日本人女性）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
	12 月	Lesson 9 Tackling Warming Global	○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語や Key Phrase, Key Language の言語材料、本文の論理展開を基に、地球温暖化の解決に向けた地球工学や産業工学の実践的な取り組みとその課題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	○地球温暖化への取り組みについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（地球温暖化への取り組み）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○地球温暖化への取り組みについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（地球温暖化への取り組み）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
3 学期	1 月				

	Lesson 10 Keys to Finding Happiness	○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、本文の論理展開を理解している。 ○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、本文の論理展開を基に、幸福に関する研究結果について書かれた文章を読み取る技能を身に付けています。	○幸せを見つける手掛かりについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（幸せを見つける手掛かり）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○幸せを見つける手掛かりについて、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（幸せを見つける手掛かり）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
2月	Optional Lesson 1 The Good, the Bad and the Emmy	○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、物語の展開を理解している。 ○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、物語の展開理解を基に、演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事を読み取ることができる。	○演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（演劇に励む登場人物の言動や彼らに起こる出来事）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。
3月	Optional Lesson 2 The Tales of Ise	○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料の表現、物語の展開を理解している。 ○新出語やKey Phrase, Key Languageの言語材料、物語の展開理解を基に、伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事を読み取ることができる。	○伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ○各パート本文の内容（伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事について、理解を深めるために、各パート本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ○各パート本文の内容（伊勢物語の中での登場人物の言動や彼らに起こる出来事）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。

## 5. 教科担当者より

外国語によるコミュニケーション能力を育成するために、授業内での様々な言語活動を通して、リスニング・スピーチング（やりとり、発表）・リーディング・ライティングの4技能5分野に渡る英語力を高めていきます。幅広い話題を扱った英文を読みながら、ALTや級友とその話題について自分の意見や考えを共有していきます。授業に参加し学びを深めるには、基本的な単語力と運用できる文法力。それと英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする少しの勇気が必要です。コミュニケーションの場面でたくさん失敗をして、英語を使うことに慣れていくましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
理科	論理表現Ⅱ	2	必履修	R5・2	全HR
使用教科書	Vision Quest English Logic and Expression II HOPE				
副教材	Vision Quest English Logic and Expression II HOPE NEW WORKBOOK Bright Stage 英文法・語法問題 Bright Stage 英文法・語法問題 Training Book Standard リスニング問題集 ALL EARS 改訂版 PRE-ADVANCED				

### 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
<p>〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解する。</p> <p>〔技能〕 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合う力を養う。</p>	<p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合う力を養う。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他人に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとする態度を養う。</p>

### 2. 学習方法

様々なテーマを基に、文法的な項目や言語材料を学びながら、表現活動を行う。基本的な知識項目と表現のバリエーションを増やすことで、言語の働きや使用場面、論理の構成・展開などを意識しながら、日常的・社会的な話題に関して、自分の考えを英語で4技能を用い、表現する。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すことや書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけていく。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について自分の考えを、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身につけていく。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	Lesson 1 What is your future goal?	主語の選択や主語になる名詞句、形式主語の概念を理解し、適切な文を組み立てる。様々な「つなぎの言葉」の用法を理解し、論理構成が分かりやすく、まとまりのある文章を書く技能を身に着けている。	子供の理想の仕事について、書かれた文章を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	子供の理想の仕事について、書かれた文章を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。
	5 月	Lesson 2 What school events do you have?	自動詞と他動詞を使い分けたり、副動詞を適切に用いたりして文を組み立てる。パラグラフの基本構成を学び、列挙・順序のパターンを用いた論理的な構成やつなぎの言葉を適切に用いて、書いて伝える技能を身に着けている。	学校で新しい友達を作る方法について書かれた文章を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	学校で新しい友達を作る方法について書かれた文章を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。
	6 月	Activity 1 Interview	友人とのインタビュー活動を通じ、設定された目的・場面・状況と会話に必要な語句・表現を理解する技能を身につけている。	友人とのインタビュー活動を通じ、意思伝達をはかりながら自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	友人とのインタビュー活動を通じ、意思伝達をはかりながら自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。
7 月	Lesson 3 Who is the best athlete?	現在・過去・未来を使った文の理解を基に、適切な動詞の形や文の構造を理解し、例示・追加のパターンを用いた論理的な構成やつなぎの言葉の使い方を身に着けている。	スポーツの歴史について書かれた文章を読んで、時を表す概念を相手にわかりやすく伝えている。	スポーツの歴史について書かれた文章を読んで、自分の意志を相手に積極的に伝えようとしている。	
	Activity 2 Negotiation	義務・必要・推量を表す、助動詞の理解を基に、適切な文の形や構造を理解し、英語で比較・対照する技能を身につけている。	ソーシャルメディアの使用に気を付けるべき点について書かれた文章を読んで、時を表す概念を相手にわかりやすく伝えている。	ソーシャルメディアの使用に気を付けるべき点について書かれた文章を読んで、自分の意志を相手に積極的に伝えようとしている。	
8 月					

2 学期	9 月	Lesson 5 How does overusing energy affect us?	形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾の理解を基に、適切な文の形や構造を理解し、原因・理由・結果について論理的に英文を理解する技能を身につけています。	エネルギーの使い過ぎについて書かれた文章を読み、環境問題に対する内容をグループでの話し合いを通して自分たちの考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	エネルギーの使い過ぎについて書かれた文章を読み、環境問題に対する内容をグループでの話し合いを通して自分たちの考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。
		Lesson 6 What are some differences?	関係代名詞や関係副詞を用いた文章構造の理解を基に、主張や理由の根拠となる情報から論理的に英文を理解する技能を身につけています。	異文化理解の重要性について書かれた文章を読み、外国人観光客が最も訪れる日本の場所をグループで話し合い、自分の意見とその理由を聞き手にわかりやすく伝えている。	異文化理解の重要性について書かれた文章を読み、外国人観光客が最も訪れる日本の場所をグループで話し合い、自分の意見とその理由を聞き手に積極的に伝えようとしている。
	10 月	Activity 3 Facts and Opinions	地理の授業で地球規模問題について扱うための語彙や情報を理解する。	地球規模の問題について、事実と意見の違いを整理しながら、自分たちの考えを、聞き手に対して論理的かつわかりやすく伝えている。	地球規模の問題について、事実と意見の違いを整理しながら、自分たちの考えを、聞き手に対して積極的に伝えようとしている。
		Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	形容詞・分詞・前置詞句や不定詞を使った、語句や文の修飾をするような構造の理解を基に、長尺の文章全体の構成と要点・要約をまとめられる技能を身につけています。	第2外国語や外国語としての英語について書かれた文章を読み、クラス内のグループなどで意見交換をしながら、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手にわかりやすく伝えている。	第2外国語や外国語としての英語について書かれた文章を読み、クラス内のグループなどで意見交換をしながら、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手に積極的に伝えようとしている。
	11 月	Activity 4 Compromise	設定された異なる労働条件に対する意見や主張を理解し、そのやり取りに必要な語句や表現を身につけています。	様々な労働条件をインターネットなどで調べ、グループで話し合いながら、自分の意思をまとめ、それを聞き手にわかりやすく伝えている。	様々な労働条件をインターネットなどで調べ、グループで話し合いながら、自分の意思をまとめ、それを聞き手に積極的に伝えようとしている。
		Lesson 8 Is Japan open enough?	直接話法・間接話法を使った表現の違い。またそれ以外の伝達表現の理解を基に、文章全体の構成の理解と要点・要約をする技能を身につけています。	日本の社会の問題点について書かれた文章を読んで、様々な伝達表現、特に話法の表現を使用し、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	日本の社会の問題点について書かれた文章を読んで、様々な伝達表現、特に話法の表現を使用し、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。
	12 月	Lesson 9 What if you were rich?	条件や仮定(仮定法を含む)を使った文の理解を基に、スピーチの構成や伝え方を意識した表現・技能を身につけています。	宝くじが当たり、大金を手にしたらという状況を仮定した文章を読んで、仮定法などの表現を使用し、自分の考えをグループで話し合い、聞き手にわかりやすく伝えている。	宝くじが当たり、大金を手にしたらという状況を仮定した文章を読んで、仮定法などの表現を使用し、自分の考えをグループで話し合い、聞き手に積極的に伝えようとしている。
		Lesson 10 How might AI affect our lives?	可算名詞・不可算名詞の使い分けや、粒量に関する表現、割合・数量の変化を表す表現の理解を基に、資料やデータを用いてについてプレゼンテーションをするための技能を身につけています。	AIと共に存する方法について書かれた文章を読んで、様々な数量やデータを示す表現を活用し、その情報や自分の考えをグループで話し合い、聞き手にわかりやすく伝えている。	AIと共に存する方法について書かれた文章を読んで、様々な数量やデータを示す表現を活用し、その情報や自分の考えをグループで話し合い、聞き手に積極的に伝えようとしている。

	Activity 5 Research	歴史の授業で技術の進歩について発表するための語彙や情報を理解する。	技術の進歩について、様々な情報やデータをまとめながら、自分たちの考えを根拠や具体例を用いながら、聞き手に対して論理的かつわかりやすく伝えている。	技術の進歩について、様々な情報やデータをまとめながら、自分たちの考えを根拠や具体例を用いながら、聞き手に対して論理的かつわかりやすく伝えている。
3 学期	1 月  Lesson 11 What is a healthy life?	原級比較・比較級・最高級表現を使った文やその構造の理解を基に、様々な物事やデータを比較し、それを理解する技能を身につけている。	AIと共に存する方法について書かれた文章を読んで、様々な数量やデータを示す表現を活用し、その情報や自分の考えをグループで話し合い、聞き手にわかりやすく伝えている。	AIと共に存する方法について書かれた文章を読んで、様々な数量やデータを示す表現を活用し、その情報や自分の考えをグループで話し合い、聞き手に積極的に伝えようとしている。
	2 月  Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	否定を含む語や部分否定・非否定語など様々な否定を意味する文やその構造の理解を基に、様々な物事やデータを利用し、それをまとめ上げ、ディスカッションにつなげていく技能を身につけている。	チョコレートの売り上げを伸ばすための販売について書かれた文章を読んで、様々な数量やデータを示す表現や否定表現を活用し、自分の考えをグループで話し合い、聞き手に論理的にわかりやすく伝えている。	チョコレートの売り上げを伸ばすための販売について書かれた文章を読んで、様々な数量やデータを示す表現や否定表現を活用し、自分の考えをグループで話し合い、聞き手に積極的に伝えようとしている。
	3 月  Activity 6 Planning	食品会社の社員であるという設定のもとに、会社の製品を販売するための語彙や必要な情報を理解する。	食品会社の社員という設定を踏まえ、スーパーで販売する新しい健康食品を検討し、自分たちのアイディアを根拠や具体例を用いながら、聞き手に対して論理的かつ、わかりやすく提案している。	食品会社の社員という設定を踏まえ、スーパーで販売する新しい健康食品を検討し、自分たちのアイディアを根拠や具体例を用いながら、聞き手に対して論理的かつわかりやすく伝えている。

## 5. 教科担当者より

英語を話したり書いたりすることができるスキルはこれからの中社会において、必須のスキルです。その上で、様々な表現方法を知り、より適切に表現できるようになることは他者とのコミュニケーションにおいて重要です。そのためには、語彙や正しい文法項目の理解は重要です。そのためには同時に授業で学んだことを復習し、実際に使ってみて自分のものにしていく必要があります。

これからの中社会で生きていく上で必要な知識や考え方を学びながら、それに対する自分の考えを英語で表現し、相手に正しく理解してもらえる力を身につけるために、まずは授業や課題に積極的に取り組み、英語を楽しく学びつつ、必要なスキルとして身に着けていきましょう。